

保証の明細

保証には、購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）を提示いただく必要があります。
領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管し、修理はお買い上げの販売店にお申し付けください。

保証する項目について

この製品の保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具－製品安全基準のガイドライン」に基づいております。特別な定めある場合以外、通常の状態で使用された場合、3つの種別ごとに（お客様ご購入の日から）1年・2年・3年としております。

外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変・褪色、背座の張り地及びレザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年※1

※1 一部の製品では、構造体の保証を8年としているものがあります。

注）上記の保証期間は、一般のオフィスにおいて、通常の執務状態（1日8時間程度）で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所（消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等）での保証期間ではございません。

家具の無償保証は一般的に、通常の補修（メンテナンス）が行われていることが前提となります。

※保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

※保証期間経過後の修理は、有料にて承ります。（経過後の点検・修理は、製品を保有される方に実施責任があります。）

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）の提示がない場合。
- ・製品コードラベルの剥離、汚損などにより、型式、ロット等の識別ができないもの。
- ・弊社発行の説明書に従って組み立てていない製品の故障及び破損。
- ・弊社発行の取扱説明書・商品添付ラベル等に従って使用されていない製品の故障または破損。
- ・使用方法において、お客様の過失が認められる場合。
- ・中古品・譲渡品・個人売買品、及び購入日、購入先が不明な商品の故障または破損。
- ・消耗品（キャスター・肘パッド・脚端及びフェルト・電池・電球・バッテリー等）
- ・異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用、保管による故障または破損。
- ・天然材料（木・革・その他）における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い。
- ・表面素材（張地・樹脂・塗装・その他）における色目・縫い・光沢等の質感の違い。
- ・弊社に責めない外部要因（天災地変・火災・異常電圧等）に起因する故障及び破損。
- ・通常使用により生じる接触や摩耗による変色・褪色・異音・変形・キズ・錆・カビの発生等。
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化。
- ・可動部の動作音（椅子のリクライニング等）。
- ・日本国以外で使用する場合。（公海上を含む）
- ・設置後の移動による故障及び破損
- ・お客様の運搬による故障及び破損

修理部品の保証期間について

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。但し、単一部分材で構成される製品や、適正な価格、納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきます。

JOIFA 標準使用期間について

日本オフィス家具協会（JOIFA）では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。

この期間は、注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。

その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお勧めさせていただく場合もあります。

詳しくは、日本オフィス家具協会（JOIFA）ホームページを、ご覧ください。

<https://www.joifa.or.jp>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体に、お問い合わせください。

OKamura 株式会社オカムラ 横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル https://okamura.co.jp	修理に関するご用命は オカムラサポートアンドサービス	製品に関するご質問は お客様相談室
	フリーダイヤル ☎ [®] 0120-448-105 受付時間 24H 受付（無休）	フリーダイヤル ☎ [®] 0120-81-9060 受付時間 9:00-17:00（土・日・祝日を除く）
	お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただくと、ご案内がスムーズです。	

G11G48/2022-02

モジュラーパネルシステム【リコネ】

RECONE

取扱・組立説明書

このたびはオカムラ製品（リコネ）をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は（リコネ）を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用前に本書をよくお読みになり、内容をご理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。

また、後日参照できるように保管していただくようお願いいたします。




1. 安全にお使いいただくために 1P
2. ご使用上の注意 2P
3. ご使用方法 3P
4. 組立方法 6P
 - 構成部品 6P
 - フロアスタンドパネル組立方法 12P
 - 卓上パネル組立方法 20P
 - デスクサイドパネル組立方法 22P
 - デスクトップパネル組立方法 25P
5. 未永くお使いいただくためのお願い 33P
6. 仕様 34P

OKamura

1. 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

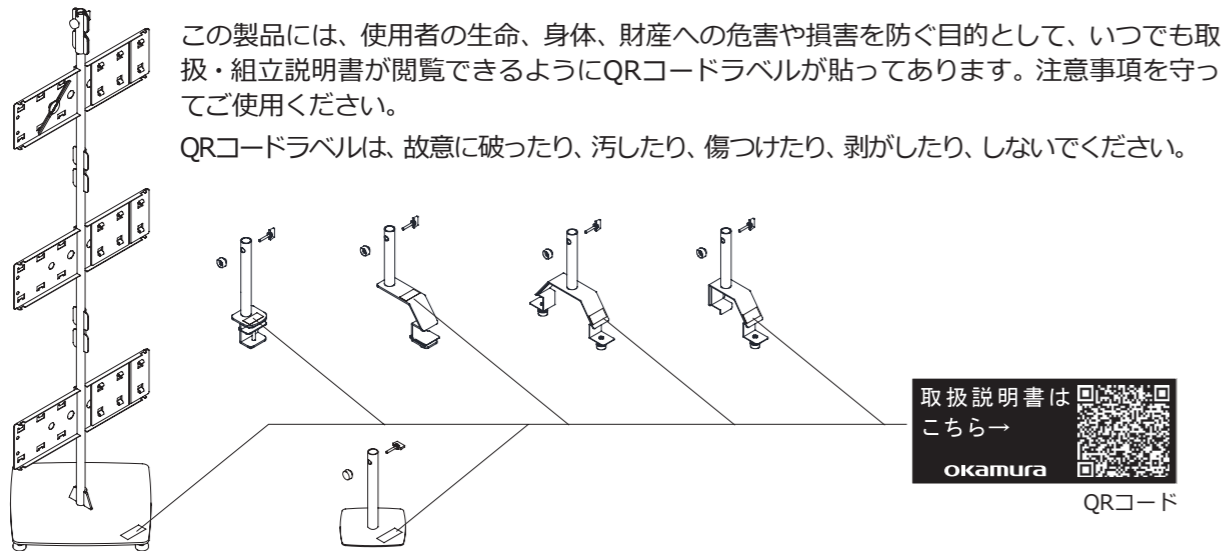
図記号についての説明

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 注意	この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物理的損害の発生が想定される内容を表示しています。
---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

△ 注意をうながしていることを表しています。


QRコードラベルの貼りつけ場所



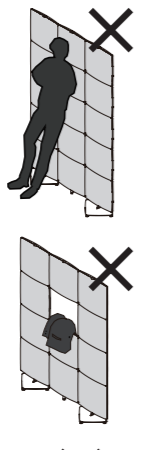
この製品には、使用者の生命、身体、財産への危害や損害を防ぐ目的として、いつでも取扱・組立説明書が閲覧できるようにQRコードラベルが貼ってあります。注意事項を守ってご使用ください。

QRコードラベルは、故意に破ったり、汚したり、傷つけたり、剥がしたり、しないでください。

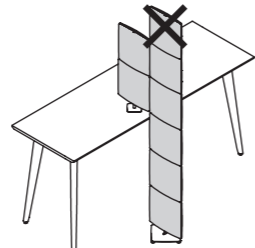
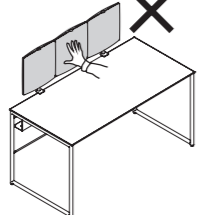
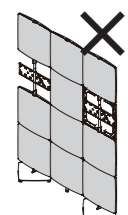
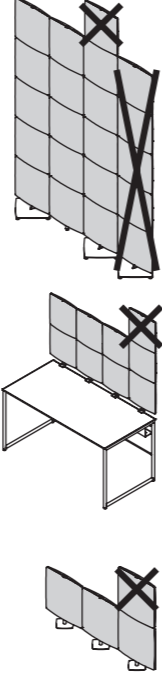
△ 注意

	製品の転倒によりケガをしたり、製品が破損する恐れがありますので、以下のことにご注意ください。
-------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

- 製品にもたれたり、腰掛けたりしないでください。
- フロアスタンドパネルは、アジャスターにより床面と水平に保つように調節してから使用してください。
- パネルの上部や隙間、中抜き部分に物を引っ掛けないでください。
- 転用フレームやフロアスタンドフレームにパネルを装着しない状態で使用しないでください。
- パネルを強く押ししたり、引っ張らないでください。




- フロアスタンドパネルは、3連以上は連結しないで下さい。
- フロアスタンドパネルは、5段以上にアドオンしないで下さい。
- デスクトップパネルは、2段以上にアドオンしないで下さい。
- 卓上パネルにはアドオンしないで下さい。1段でお使いください。
- デスクサイドパネルの机上面は2段以上にアドオンしないで下さい。




1. 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

△ 禁止

	落下によりケガをしたり、製品が破損する恐れがありますので、以下のことにご注意ください。
-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------

- 本製品の上に座ったり、乗らないでください。
- パネルを重ねて踏み台代わりに使用しないでください。

	スキマや可動部には手や指を入れないでください。ケガをする恐れがあります。
-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------

	ケガをしたり、製品が破損する恐れがありますので、以下のことにご注意ください。
-------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------

- 乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けください。破損や転倒の恐れがあります。
- 部品が外れたまま使用しないでください。
- 故障した状態で使用しないでください。
- ピンナップを刺さないでください。
- ボルトやネジが緩んだ状態で使用しないでください。

2. ご使用上の注意

下記事項をお守りにならなかった場合は、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

設置の際のお願い

屋内でのご使用をお願いいたします。

- 屋外や水のかかるところ等では、反り・カビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。

- 窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

水平を保つように設置してください。

- 設置するときは、必ず本体を水平に保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置しますと、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。

ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

適切な換気の励行に関するお願い

- 購入当初は化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないでください。

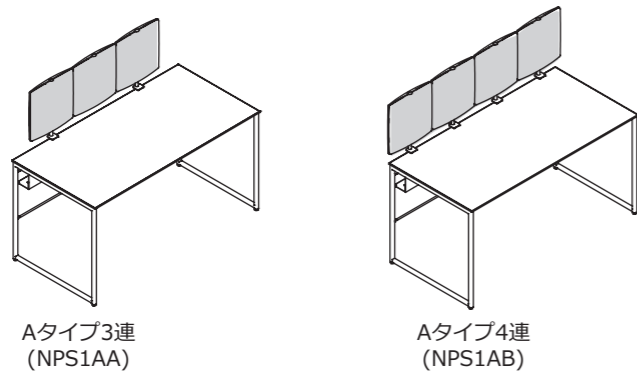
定期的なメンテナンスのお願い

- 使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じたときは、そのまま放置せず、早めの増締めをしてください。

3. ご使用方法

品揃えと寸法

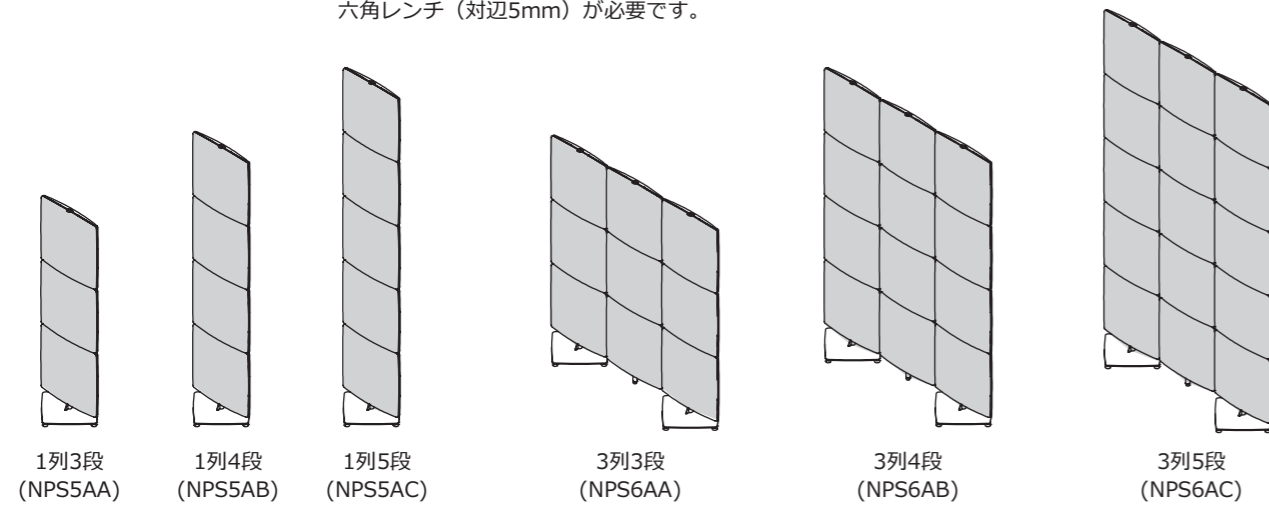
■デスクトップパネル



品番	タイプ	連数	寸法 (mm)		
			段数	幅	奥行き
NPS1AA	Aタイプ	3	1	1080	50 (パネル厚み)
NPS1BA	Bタイプ				
NPS1CA	Cタイプ				
NPS1DA	Dタイプ				
NPS1AB	Aタイプ	4	1	1440	50 (パネル厚み)
NPS1BB	Bタイプ				
NPS1CB	Cタイプ				
NPS1DB	Dタイプ				

■フロアスタンドパネル

※フロアスタンドベースとフレームの連絡時には六角レンチ (対辺5mm) が必要です。



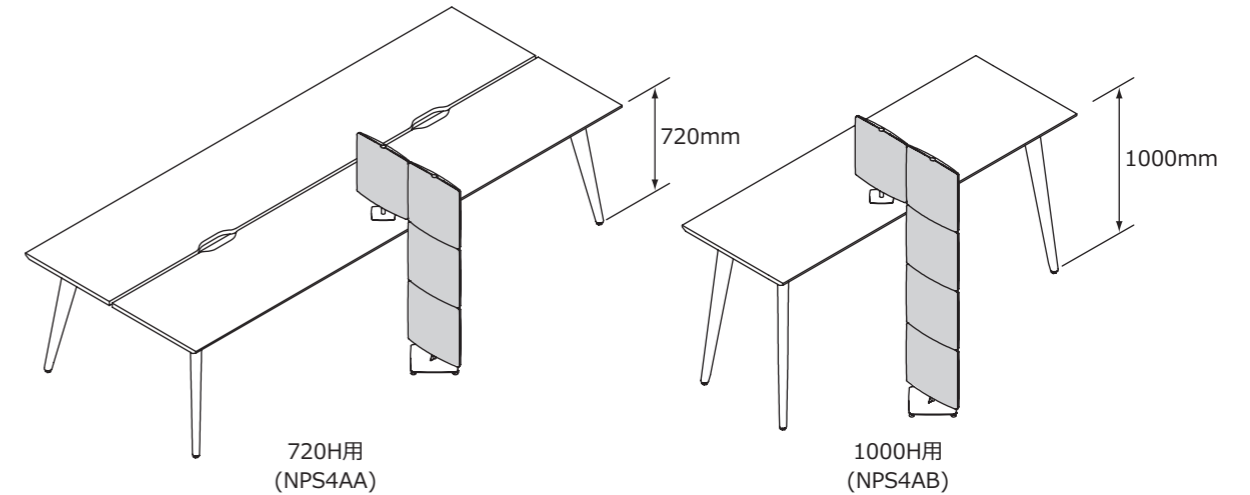
品番	連数	段数	寸法 (mm)		
			幅	奥行き	高さ
NPS5AA	1	3	360	50 (パネル厚み)	1130
NPS5AB		4			1490
NPS5AC		5			1850
NPS6AA	3	3	1080	344 (フロアスタンドベース)	1130
NPS6AB		4			1490
NPS6AC		5			1850

3. ご使用方法

品揃えと寸法

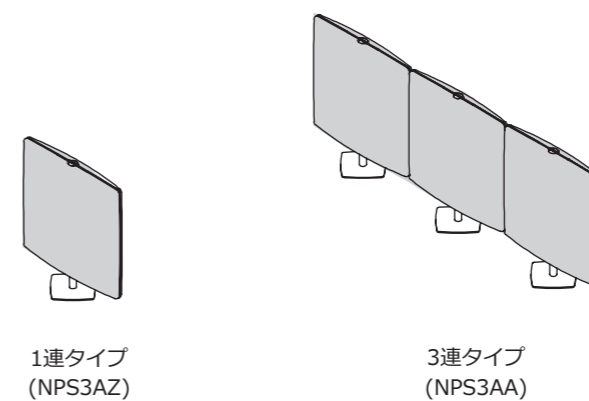
■デスクサイドパネル

※フロアスタンドベースとフレームの連絡時には六角レンチ (対辺5mm) が必要です。



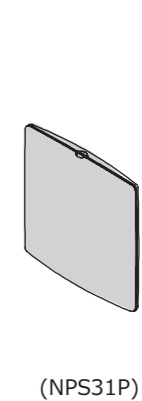
品番	タイプ	連数	段数	寸法 (mm)		
				幅	奥行き	高さ
NPS4AA	720H用	2	3段 (机上: 1段)	720	50 (パネル厚み)	1130 mm (机上: 410 mm)
NPS4AB	1000H用		4段 (机上: 1段)			344 (フロアスタンドベース)

■卓上パネル



品番	連数	段数	寸法 (mm)		
			幅	奥行き	高さ
NPS3AZ	1	1	360	50 (パネル厚み)	410
NPS3AA	3		1080	154 (卓上ベース)	

■モジュールパネル

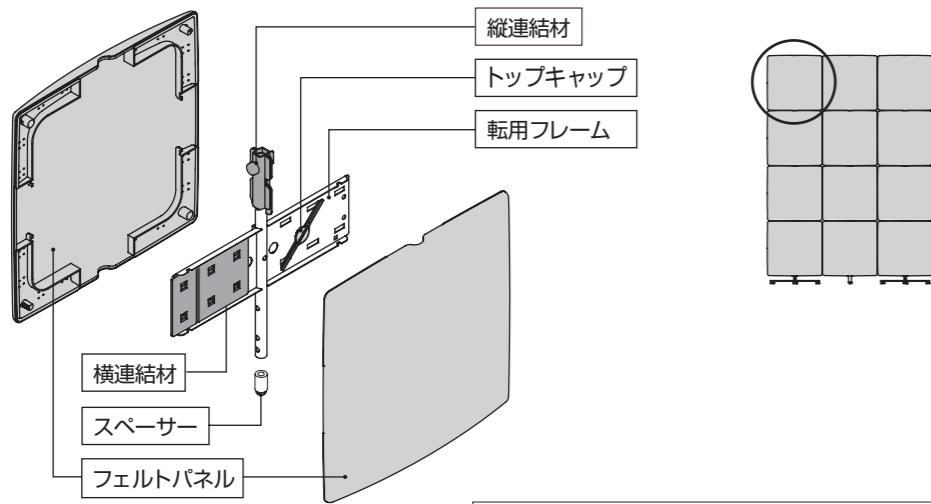


品番	寸法 (mm)		
	幅	奥行き	高さ
NPS31P	360	50 (パネル厚み)	360

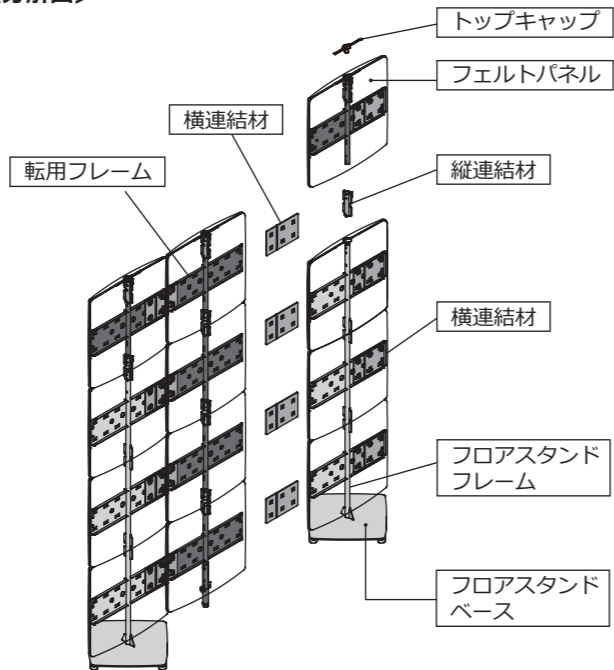
3. ご使用方法

各部の名称

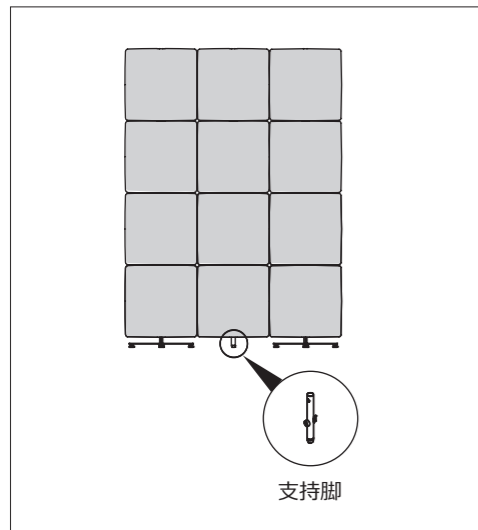
■モジュールパネル



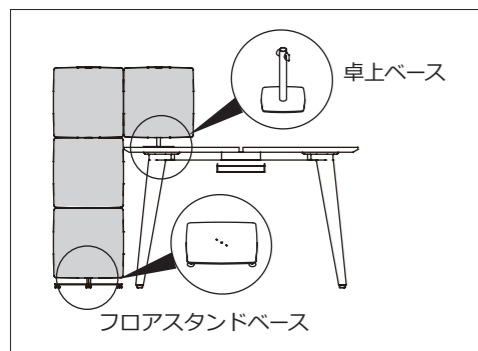
〔分解図〕



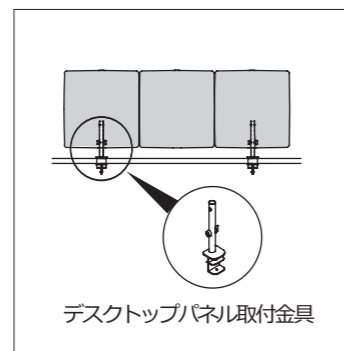
■フロアスタンドパネル



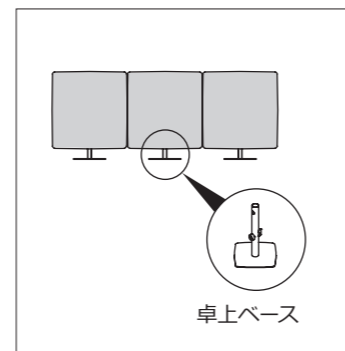
■デスクサイドパネル



■デスクトップパネル



■卓上パネル

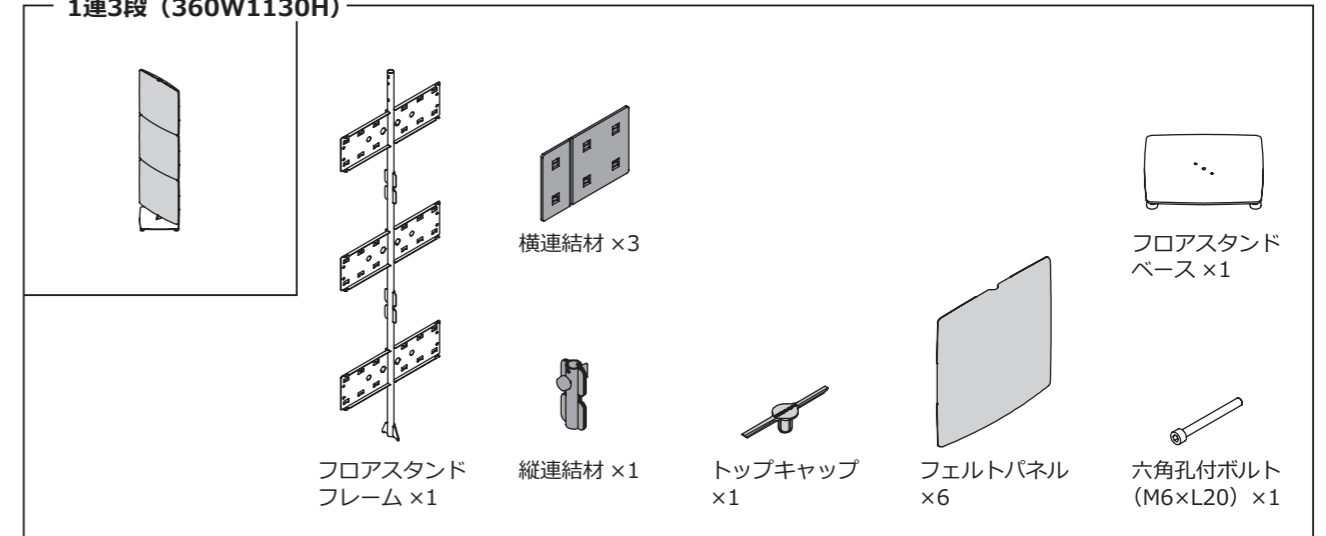


4. 組立方法

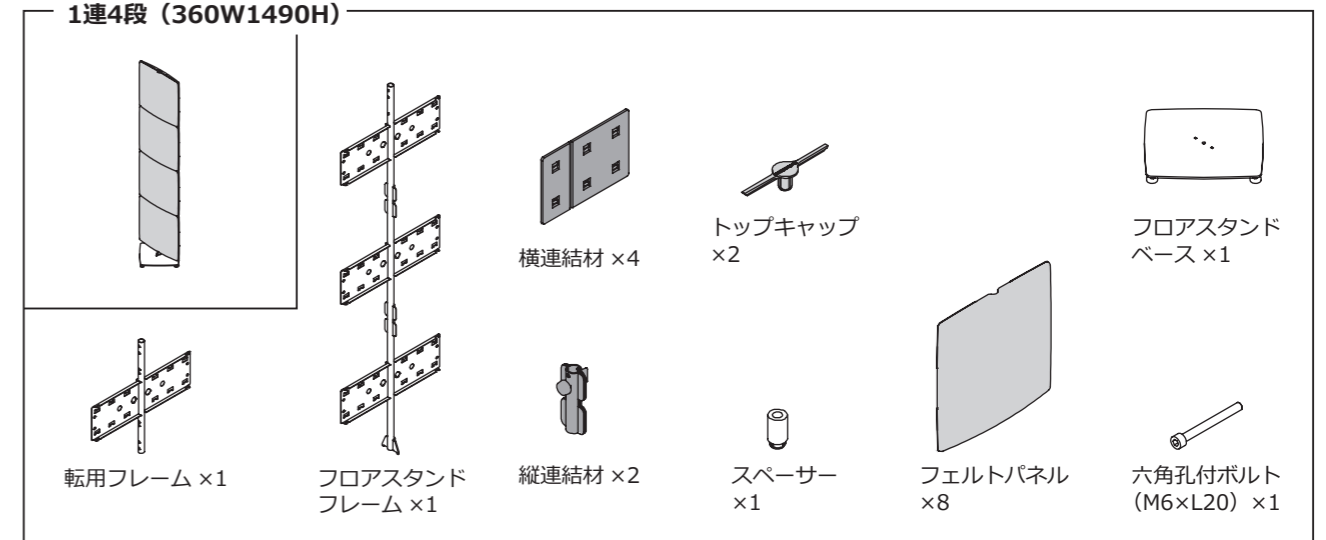
構成部品

■フロアスタンドパネル

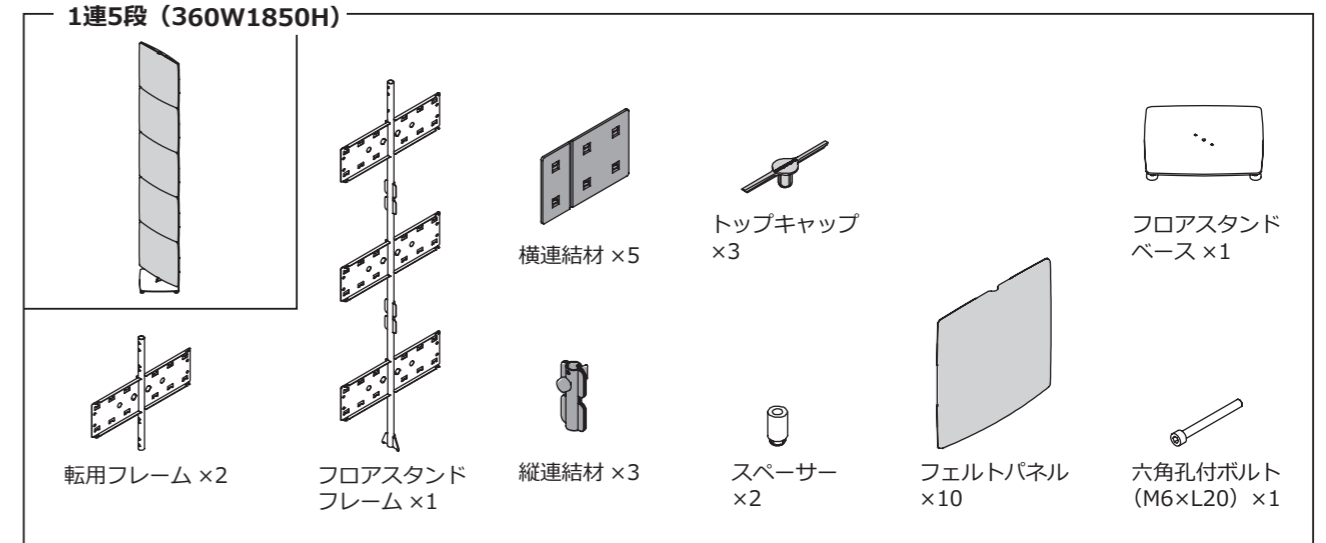
1連3段 (360W1130H)



1連4段 (360W1490H)



1連5段 (360W1850H)

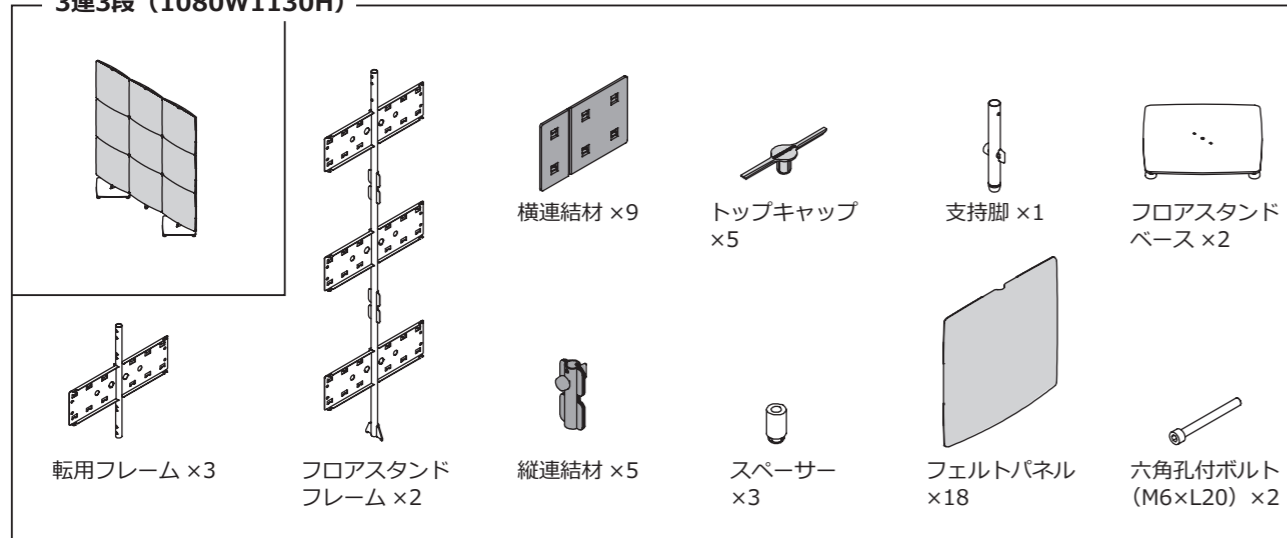


4. 組立方法

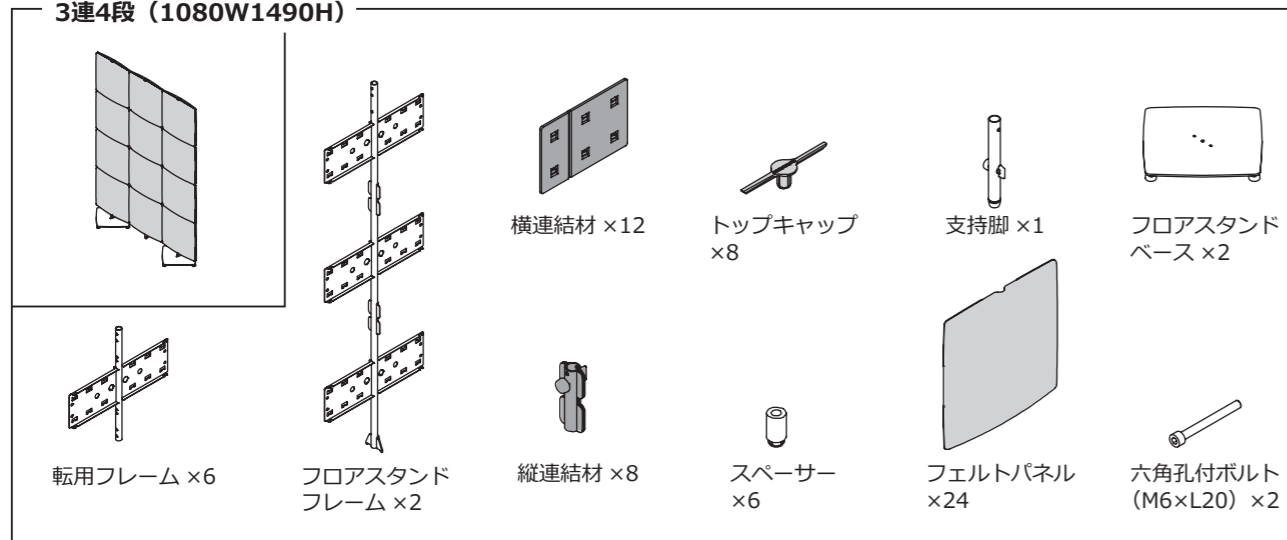
構成部品

■フロアスタンドパネル

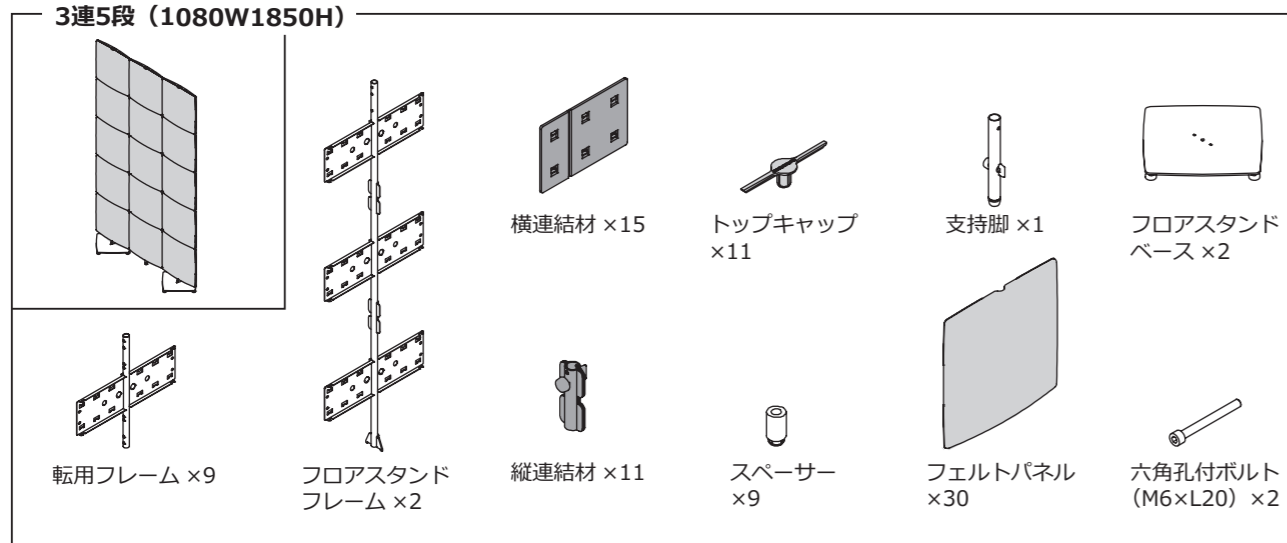
3連3段 (1080W1130H)



3連4段 (1080W1490H)



3連5段 (1080W1850H)

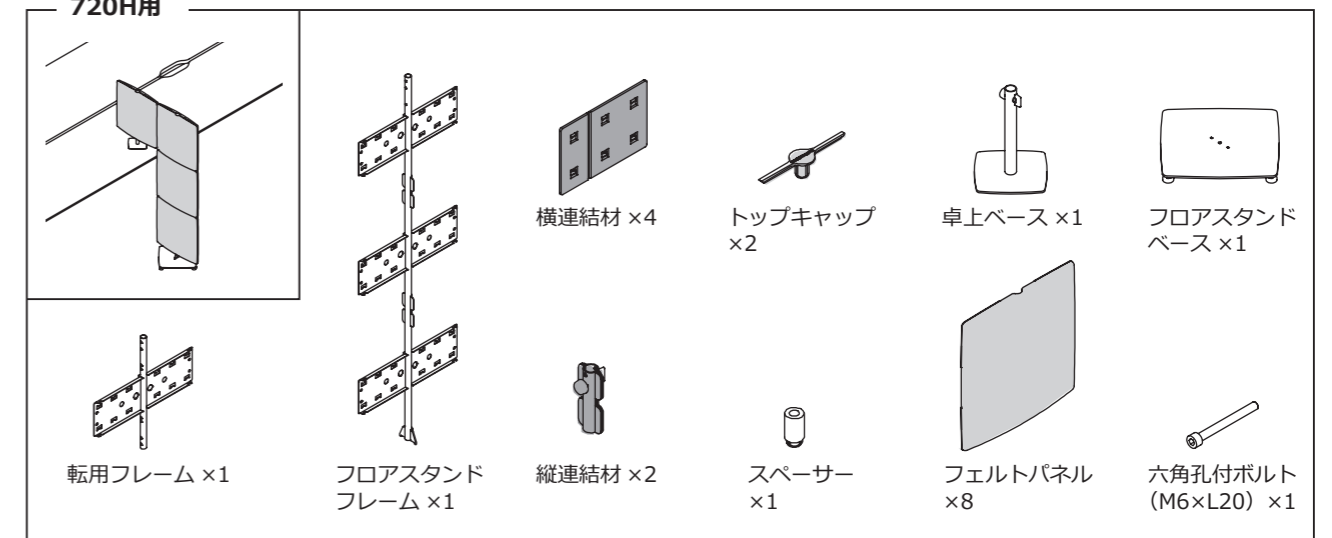


4. 組立方法

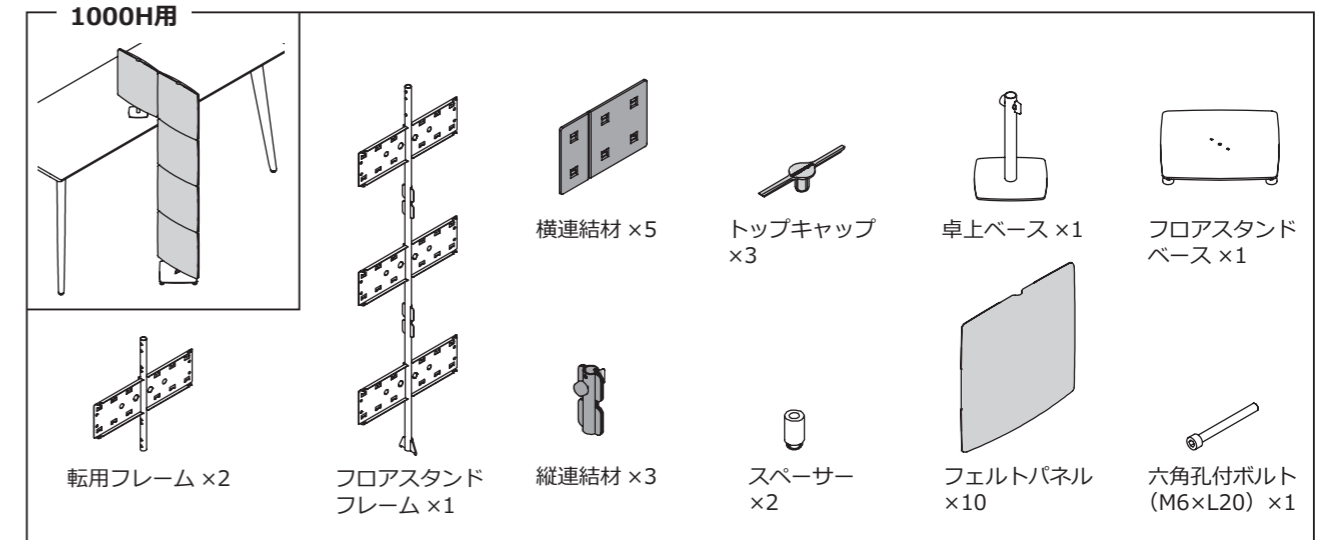
構成部品

■デスクサイドパネル

720H用



1000H用

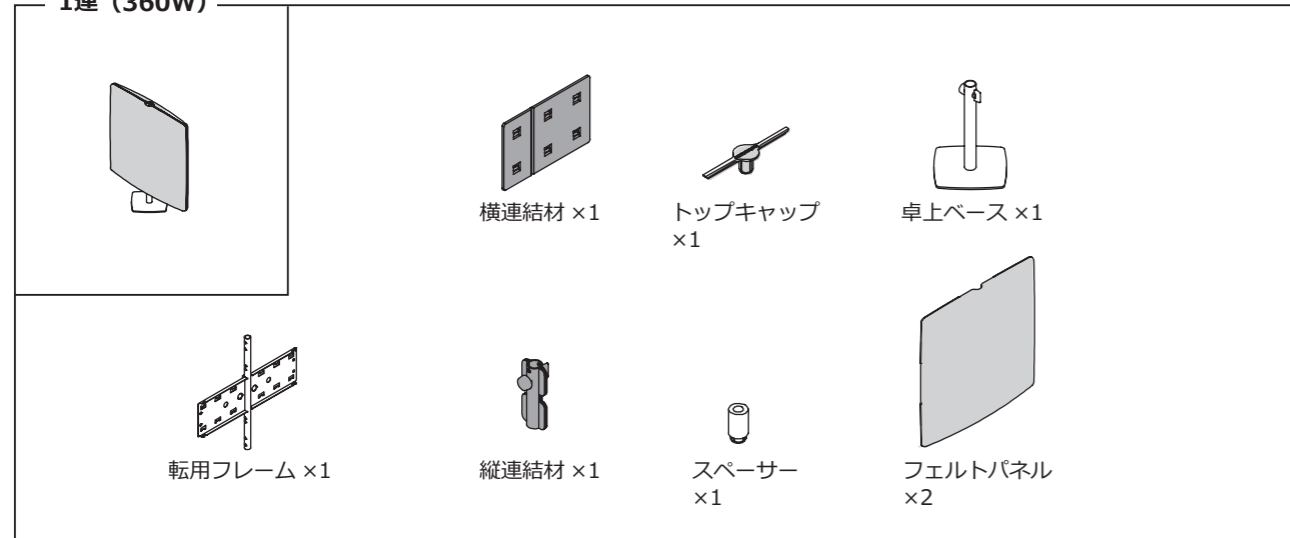


4. 組立方法

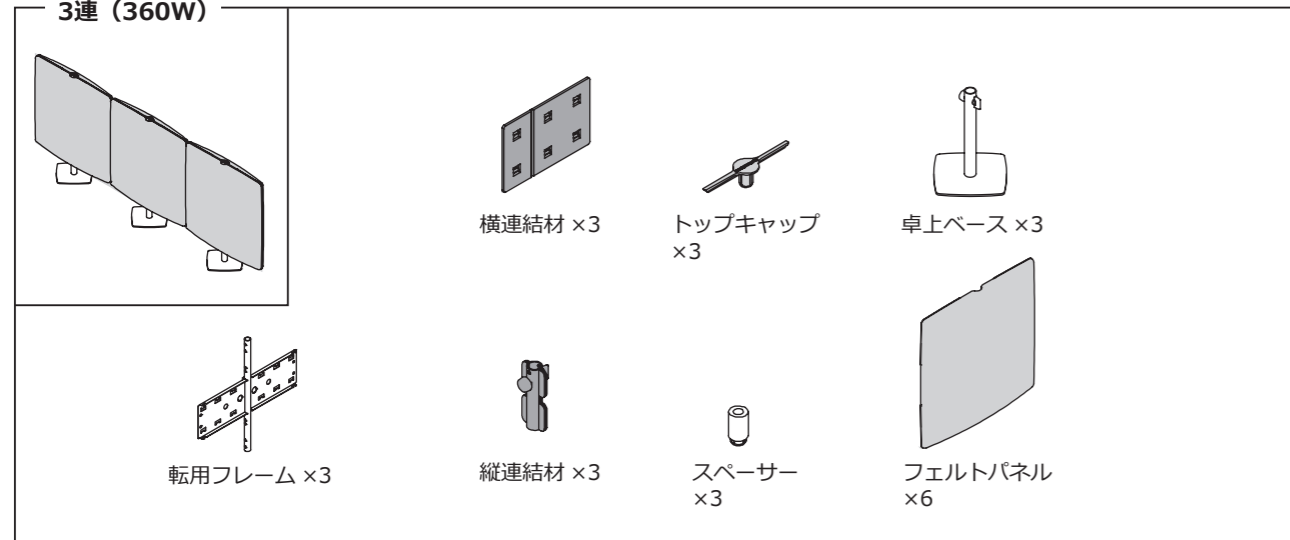
構成部品

■卓上パネル

1連 (360W)



3連 (360W)

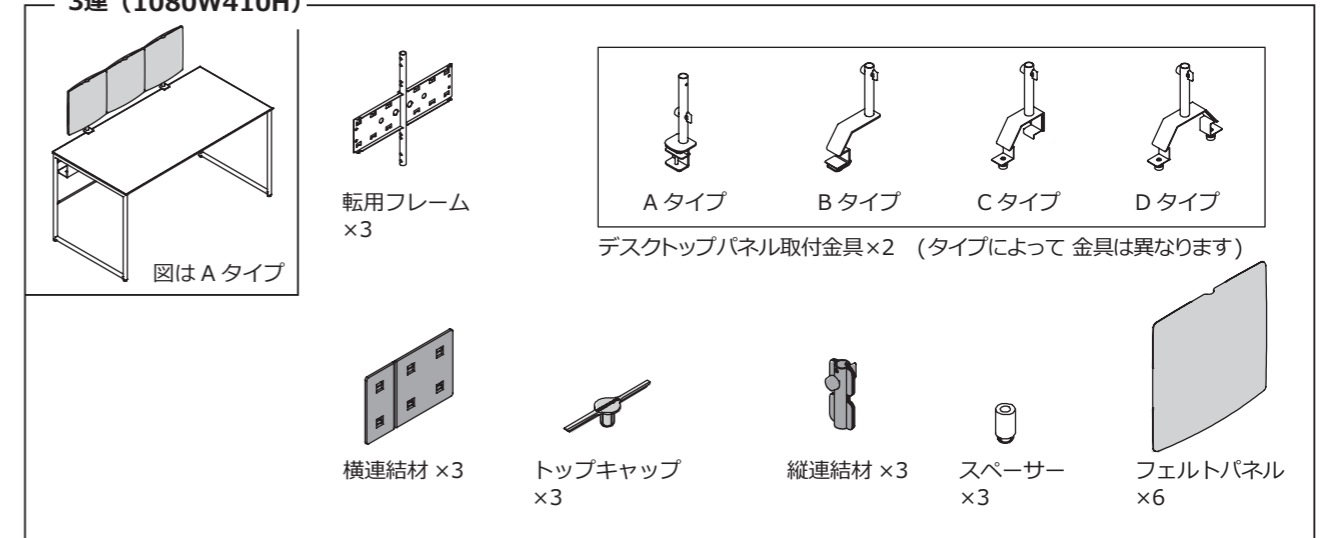


4. 組立方法

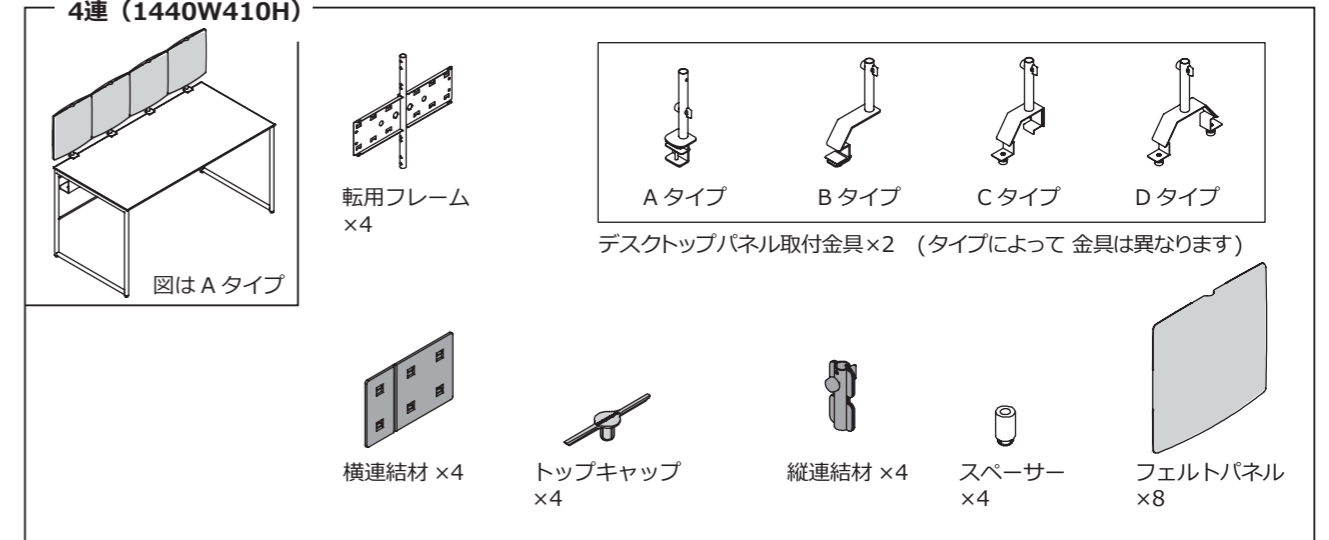
構成部品

■デスクトップパネル

3連 (1080W410H)



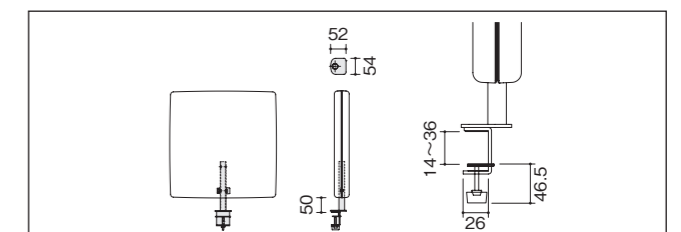
4連 (1440W410H)



■デスクトップパネル取付金具対応シリーズ

Aタイプ (汎用クランプタイプ)	スイフト、ライブスイフト、リーガス、ライブベンチ等
Bタイプ	アドバンス専用
Cタイプ	フリーウェイ片面専用
Dタイプ	フリーウェイ両面専用

■取付金具Aタイプ 取り付け可能寸法

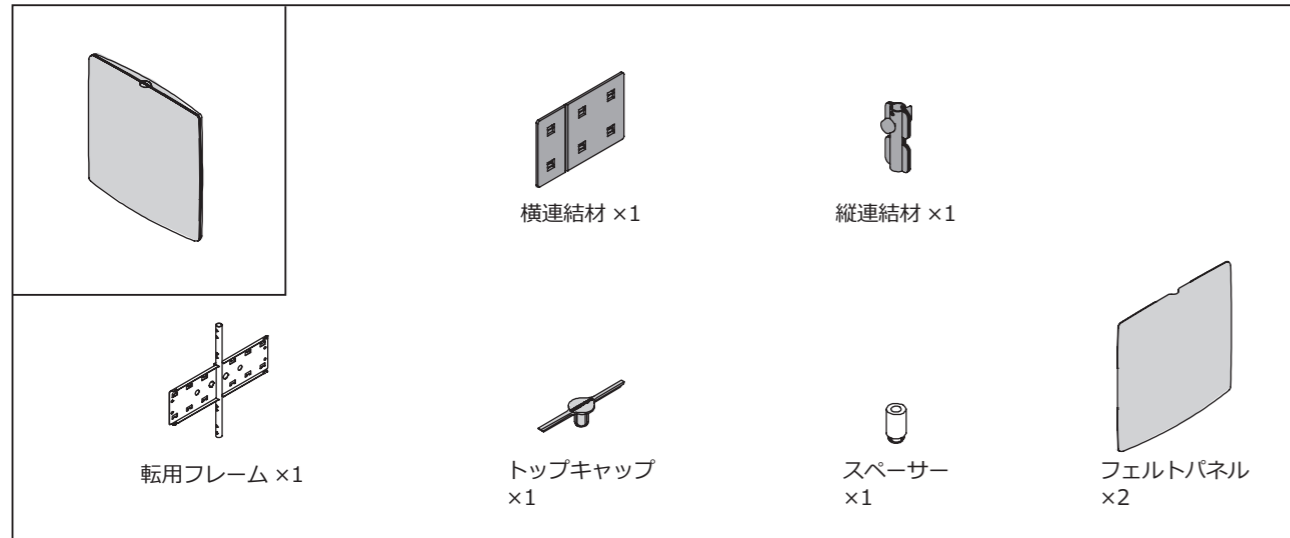


天板厚 14~36 mmに対応します。
エッジがスラントした天板には取り付け不可です。

4. 組立方法

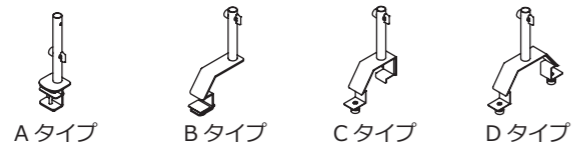
構成部品

■モジュールパネル



オプションパーツ

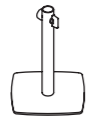
●デスクトップパネル 取付金具



●支持脚



●卓上ベース



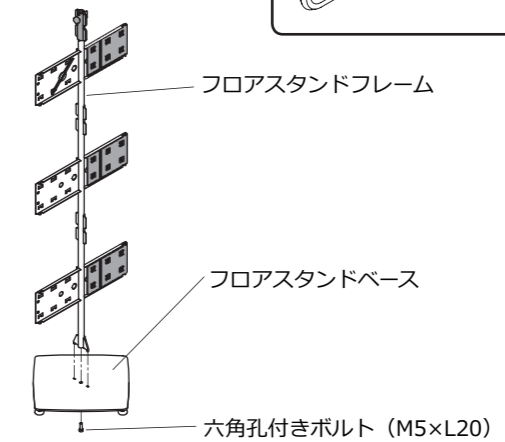
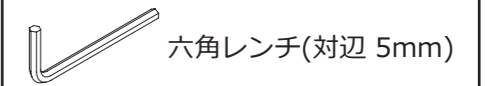
4. 組立方法

■フロアスタンドパネル組立方法 (3列4段の場合)

1 フロアスタンドベースとフレームの組立

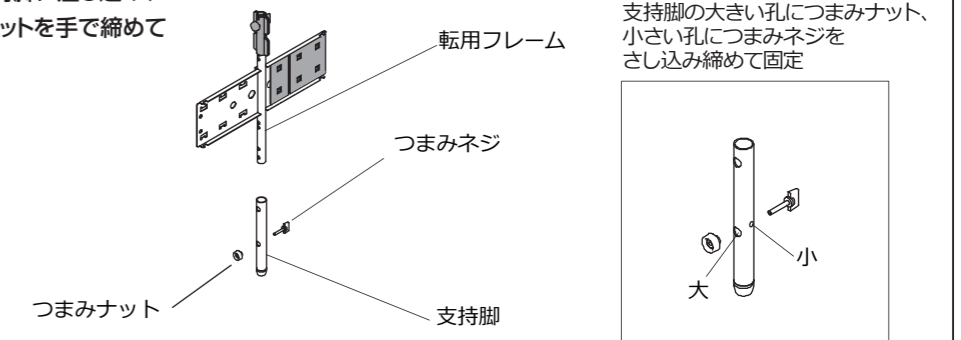
フロアスタンドベースの角孔に、フロアスタンドフレームの下部突起部分を差し込み、六角孔付ボルトで固定します。(2セット組み立てます)。

使用工具



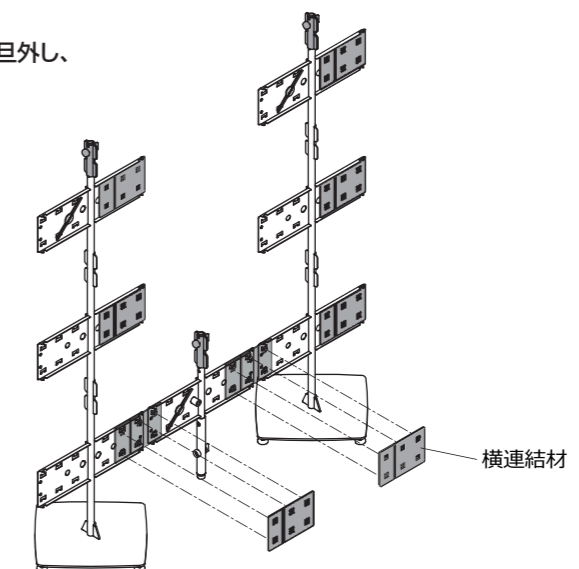
2 転用フレームと支持脚の組立

下図の様に、転用フレームを支持脚に差し込み、支持脚のつまみネジとつまみナットを手で締めて固定します。



3 1と2の連結

最下段に取り付いている横連結材を一旦外し、1と2を下図の様に連結します。



4. 組立方法

■フロアスタンドパネル組立方法（3列4段の場合）

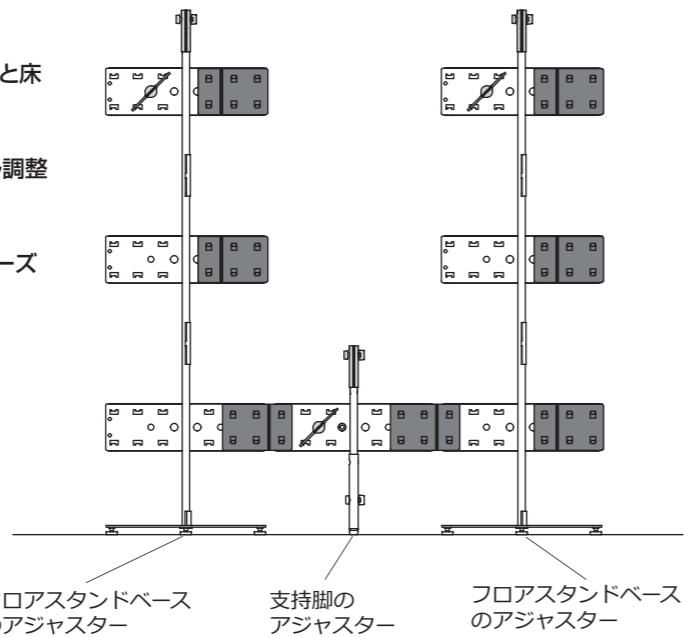
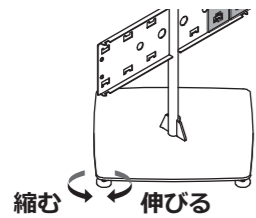
4 1段目のレベル調整

フロアスタンドベースのアジャスターを回して、パネルと床面が垂直になるようにレベル調整を行ってください。

支持脚が設置するように、アジャスターを回してレベル調整を行ってください。

レベルが合っていないと、パネルの縦横の連結がスムーズにできず同時に、パネルの安定性が悪くなります。

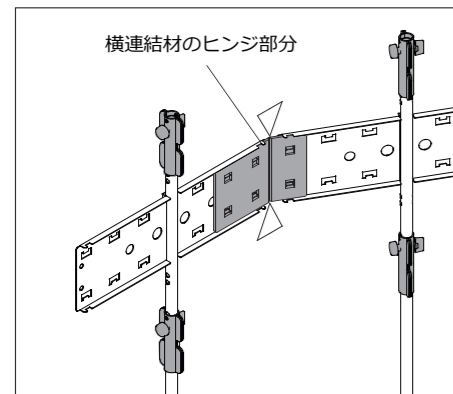
アジャスターは時計回りに回すと伸びます。



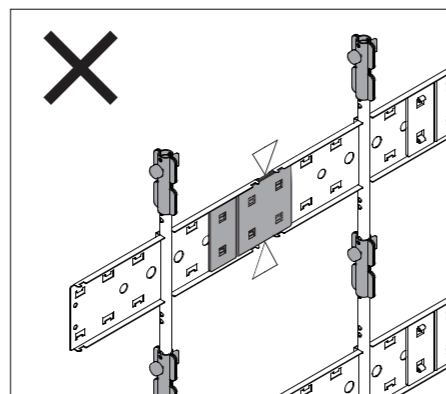
横連結材は、ヒンジ部分で、パネルを0~45°の範囲で自由に曲げられます。それぞれ、横連結材の取付位置に注意して取り付けてください。

注意

フロアスタンドパネルの横連結は必ず角度調節可能な連結としてください。図の様に、横連結材のヒンジ部分が連結部になるように取付けてください。直線連結は不可となります。



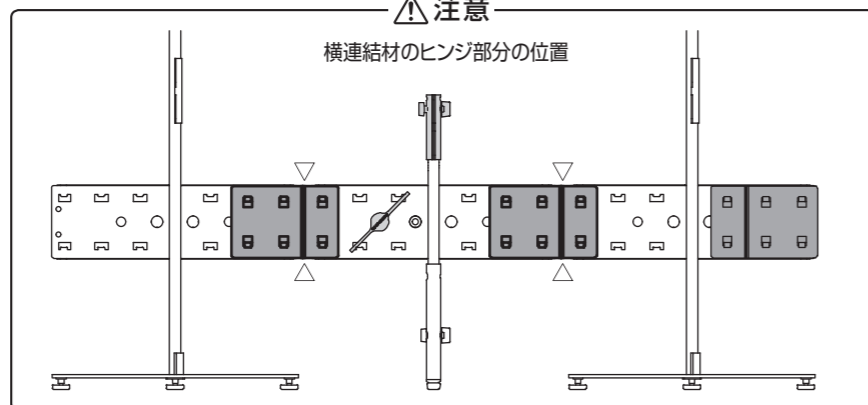
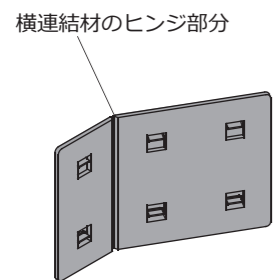
0~45°の範囲で角度調節可能な横連結材の取付位置



直線連結の場合の横連結材の取付位置

注意

横連結材のヒンジ部分の位置

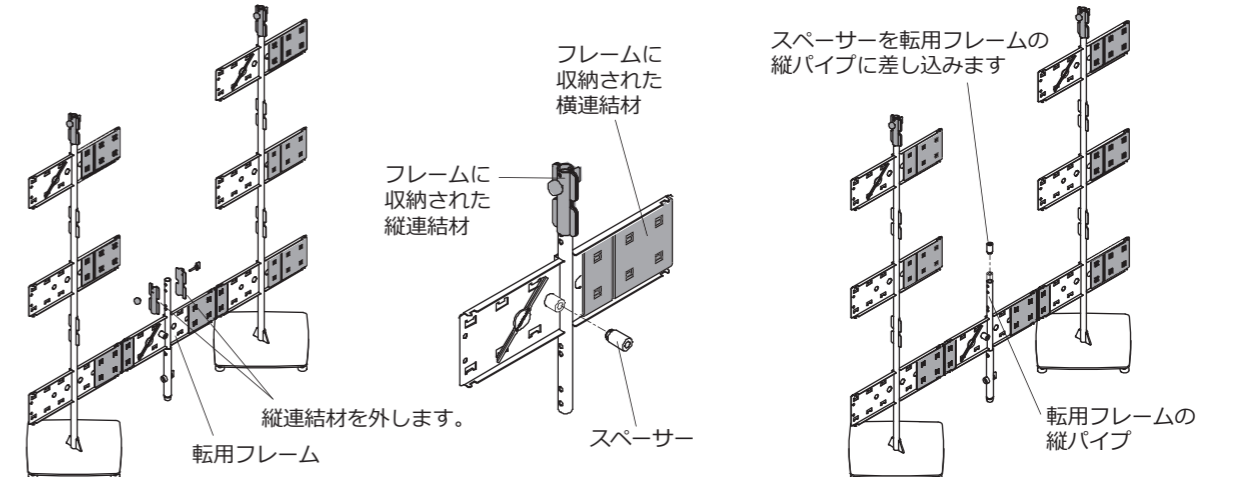


4. 組立方法

■フロアスタンドパネル組立方法（3列4段の場合）

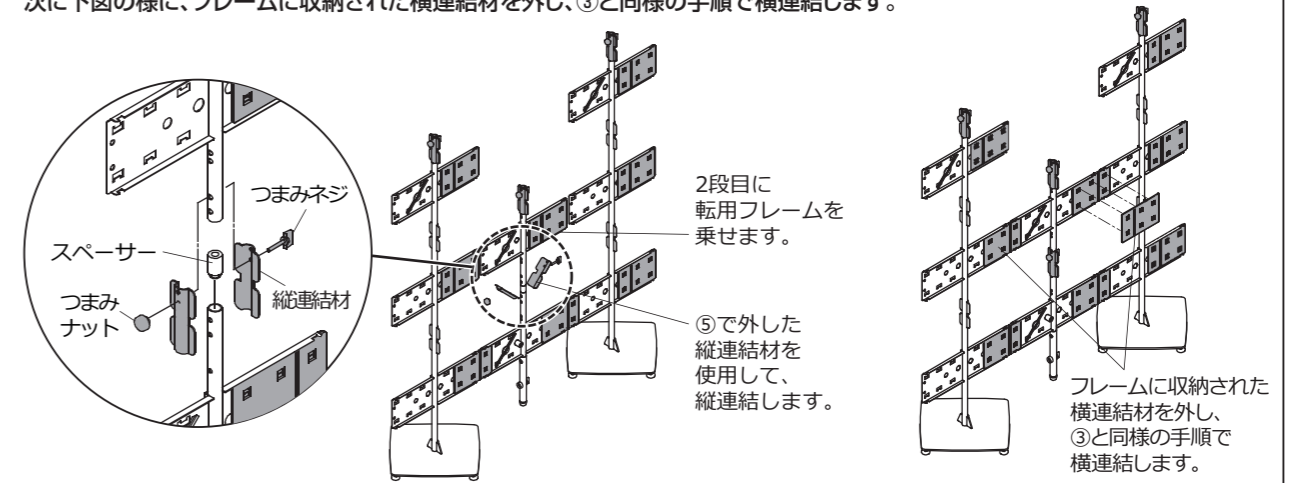
5 2段目から上の連結(スペーサーのセッティング)

中列最下段の転用フレームに予め取り付けられている縦連結材を一旦外します。2段目に連結する転用フレームに取り付けられているスペーサーを、中列最下段の転用フレームの縦パイプに差し込みます。



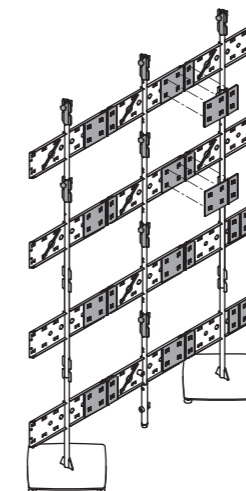
6 2段目から上の連結(転用フレームの連結)

⑤で取り付けしたスペーサーの上に2段目にセットする転用フレームを乗せ、⑤で外した縦連結材を使用して縦連結します。次に下図の様に、フレームに収納された横連結材を外し、③と同様の手順で横連結します。



7 3段目から上の連結

⑥と同様の手順で縦連結と横連結をします。



4. 組立方法

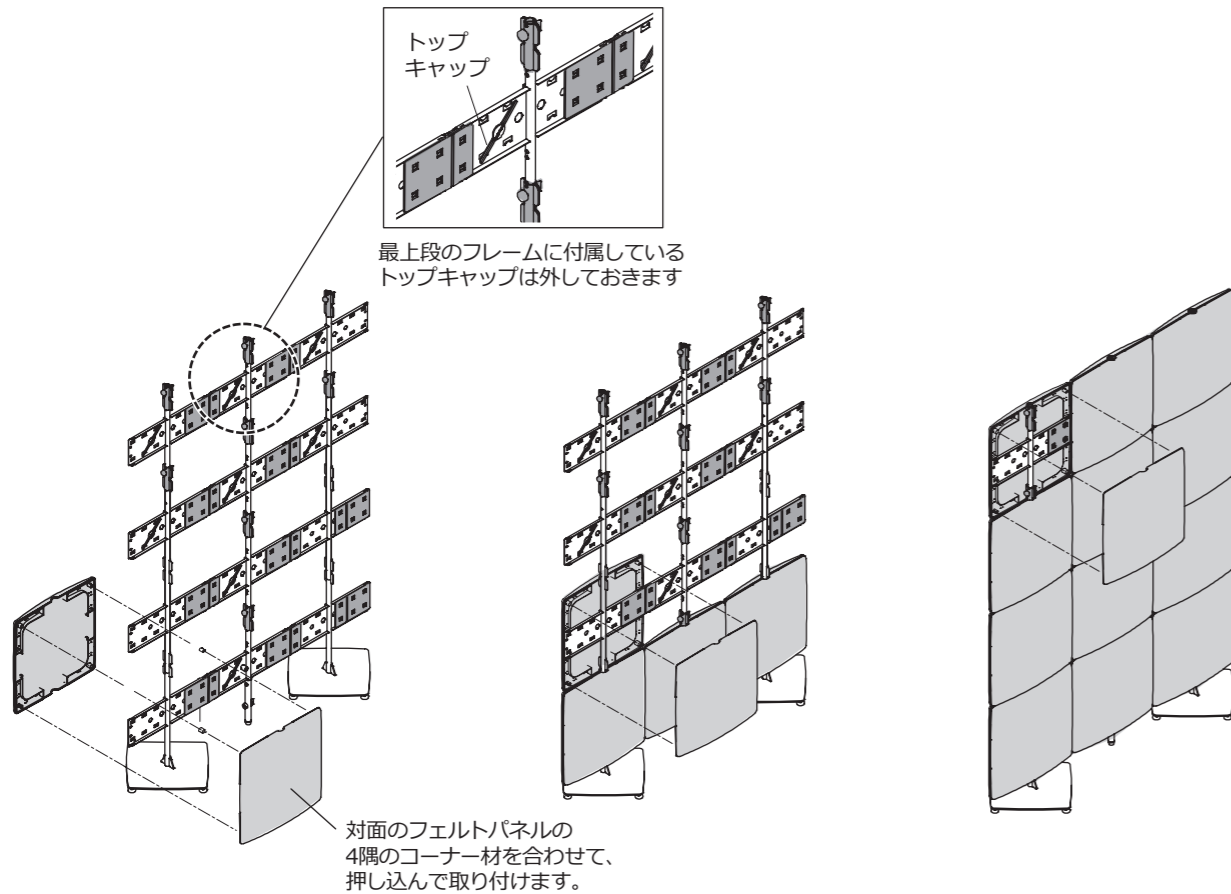
■フロアスタンドパネル組立方法（3列4段の場合）

8 フェルトパネルの取り付け

最上段のフレームに予め取り付けられているトップキャップを外しておきます。

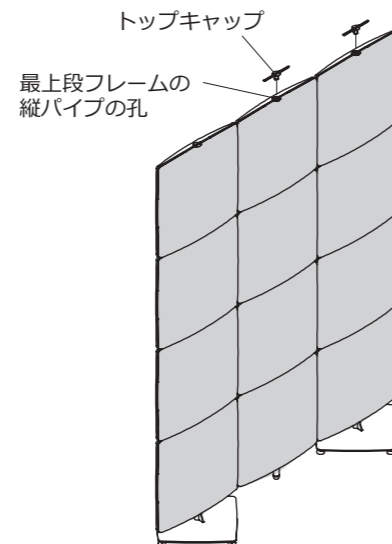
フェルトパネルを下から順々に、上まで取り付けっていきます。

最初に片面のパネルをフレームの溝に引っ掛けて仮固定します。その後、反対側のパネルを対面からあてて、4隅のコーナー材を合わせてカチッと音がなるまで押し込んで取り付けます。



9 トップキャップの取り付け

最上段のフレームから取り外したトップキャップを、最上段のフレームの縦パイプの孔に取り付けます。

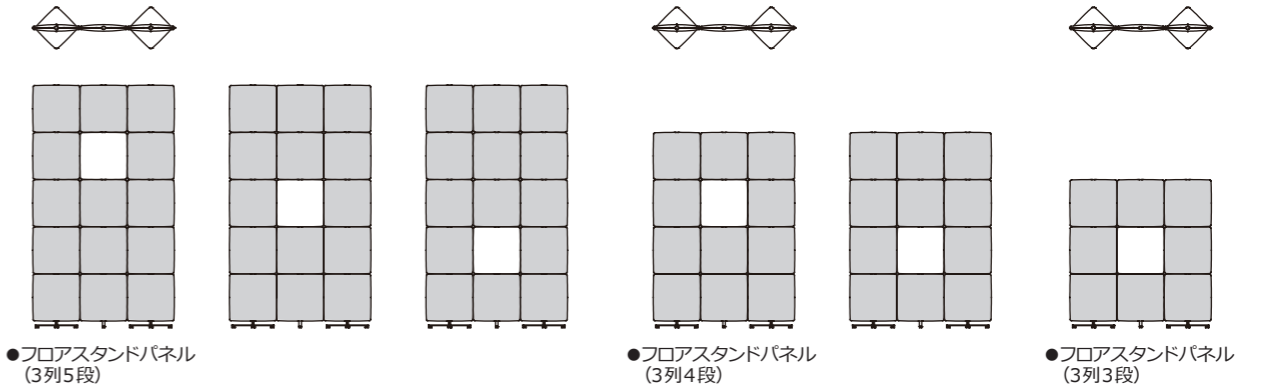


4. 組立方法

■フロアスタンドパネル組立方法（窓の組立手順）

フロアスタンドパネルの3列タイプでは、中列のパネルを1枚抜くことで、窓を設けた設置をすることが可能です。

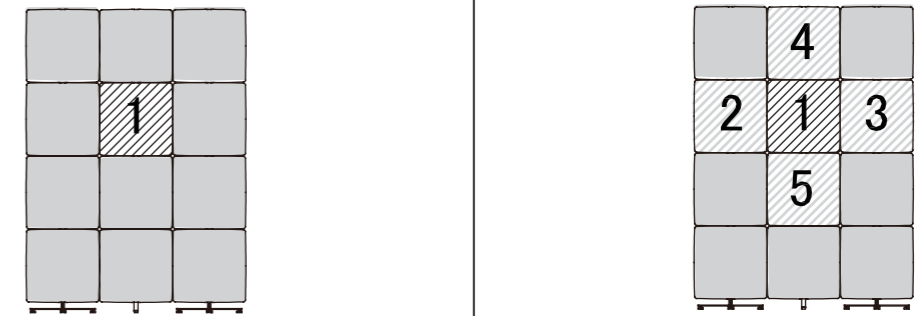
【窓を設けたフロアスタンドパネル 例】



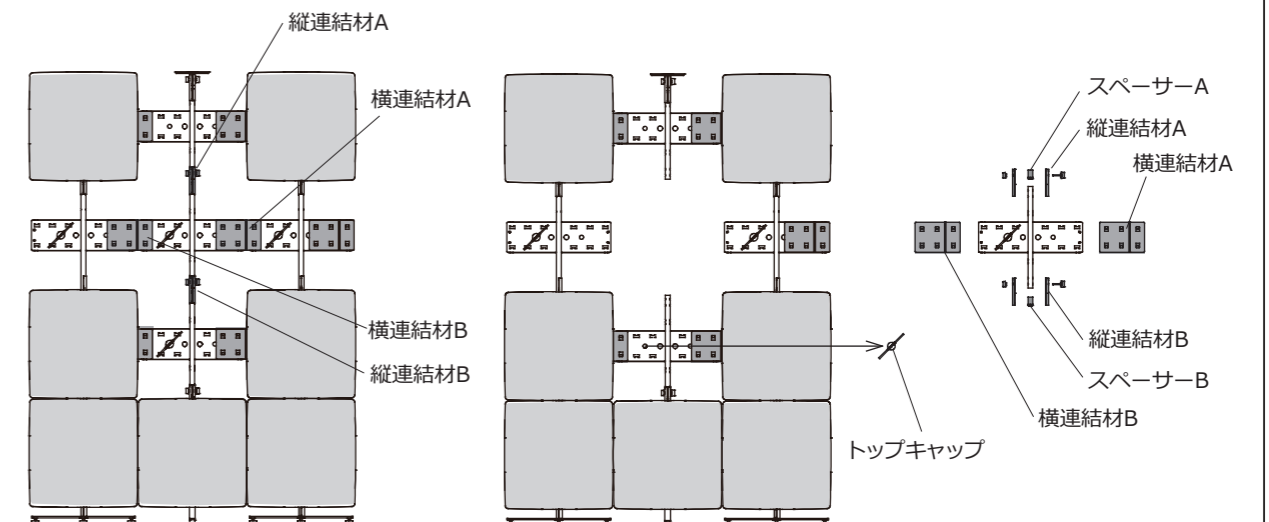
注意) 2枚以上の窓は作れません。1段目に窓は作れません。

3列4段タイプの下段の1を後から窓にする場合

1 窓を設けたい箇所と、その上下左右の計5か所のフェルトパネルを外します。



2 1の転用フレームに固定されている、横連結材A,Bと縦連結材A,BとスペーサーA,Bを外して1の転用フレームを取り外します。この時に、5の転用フレームを取り外します。

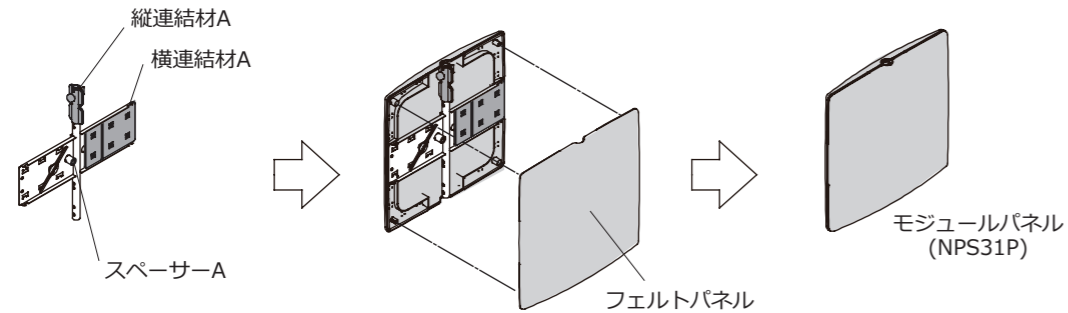


4. 組立方法

■フロアスタンドパネル組立方法（窓の組立手順）

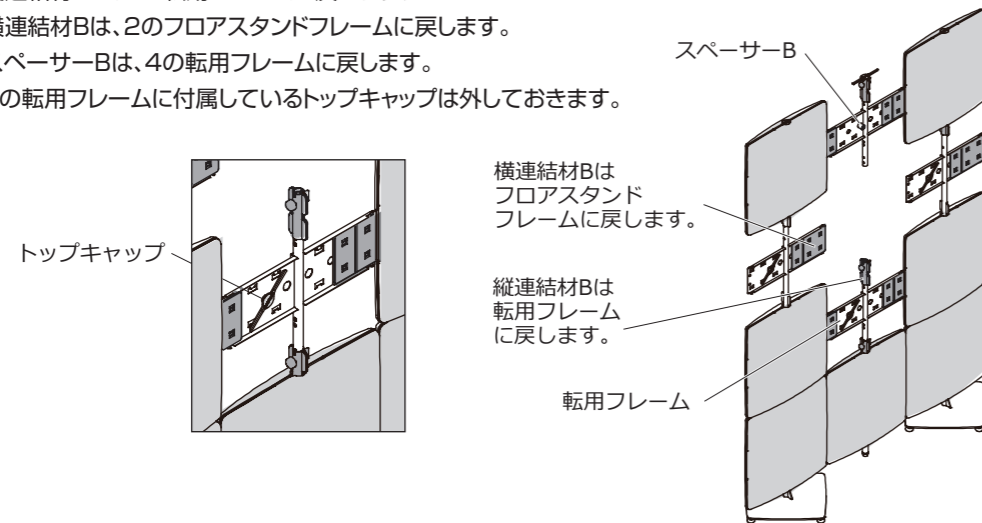
3

1の転用フレームに縦連結材Aと横連結材AとスペーサーAを下図のように転用フレームの中に取り付けて収納し、取り外したフェルトパネルを取り付けます。モジュールパネル(NPS31P)として保管したり、他のパネルにアドオンすることができます。



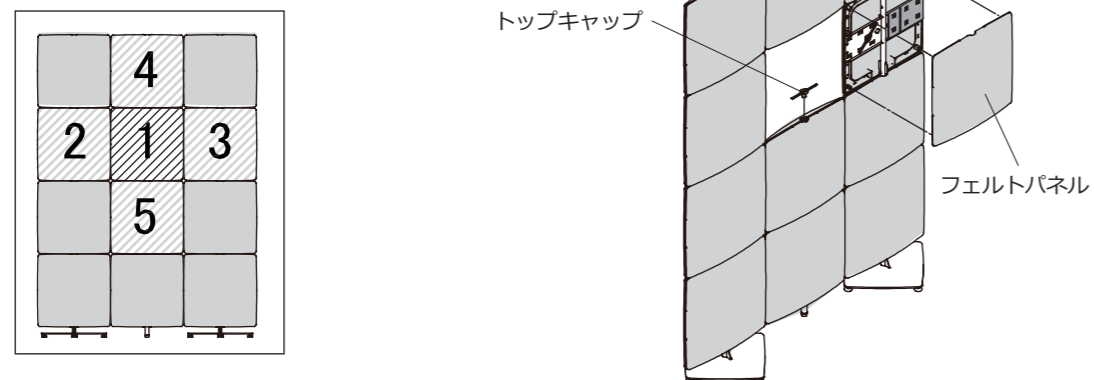
4

縦連結材Bは、5の転用フレームに戻します。
横連結材Bは、2のフロアスタンドフレームに戻します。
スペーサーBは、4の転用フレームに戻します。
5の転用フレームに付属しているトップキャップを外しておきます。



5

2、3、4、5のフェルトパネルを再び取り付け、最後に5のパネルにトップキャップを取り付けて完成です。
※取り外した1のモジュールパネルは転用するか保管してご使用いただけます。

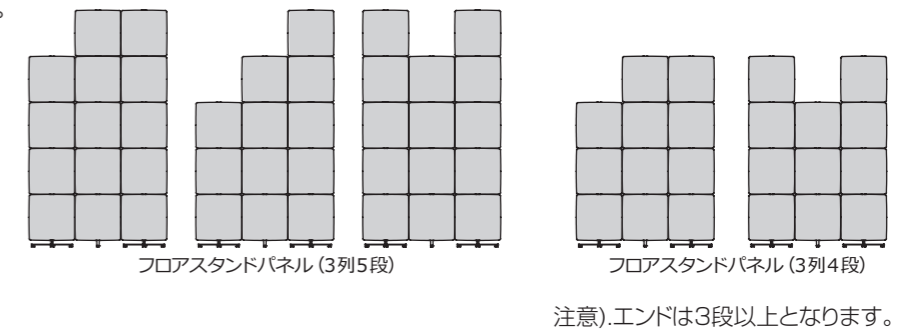


4. 組立方法

■フロアスタンドパネル組立方法（階段の組立手順）

フロアスタンドパネルの3列タイプでは、階段状に設置をすることが可能です。

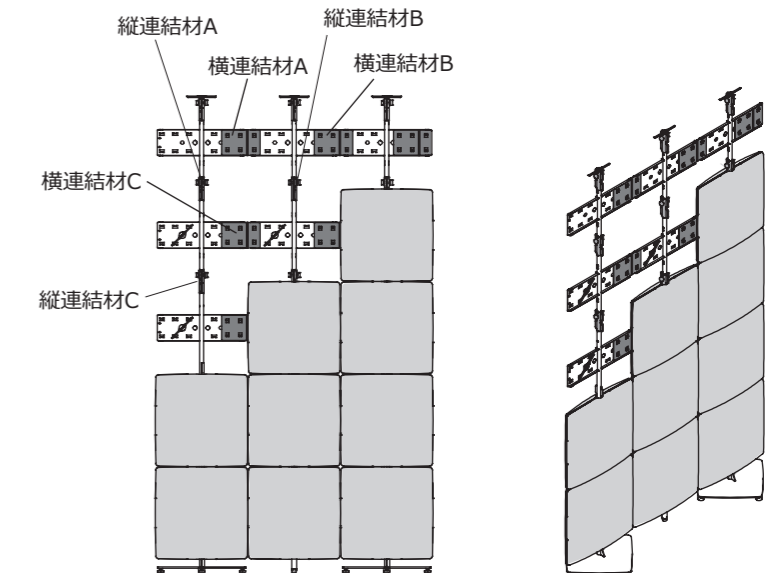
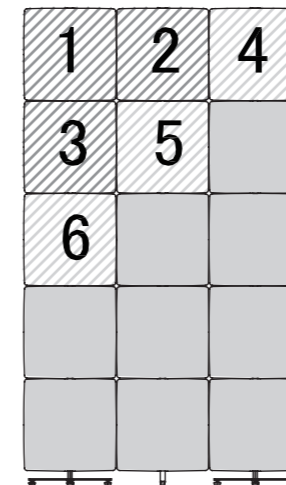
【階段のバリエーション】



3列5段タイプで、後から1,2,3を外す場合

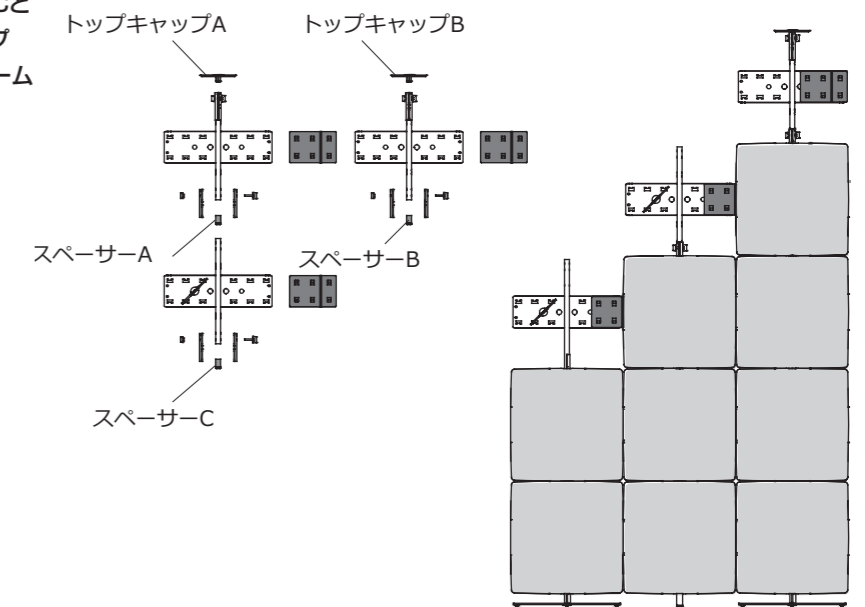
1

1,2,3,4,5,6のフェルトパネルを外します。



2

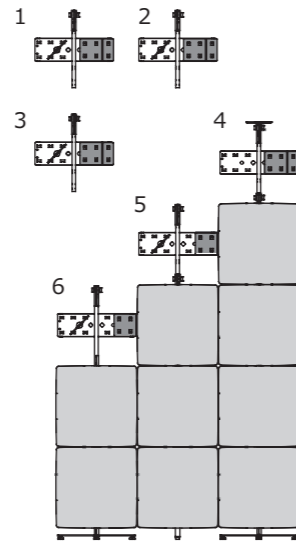
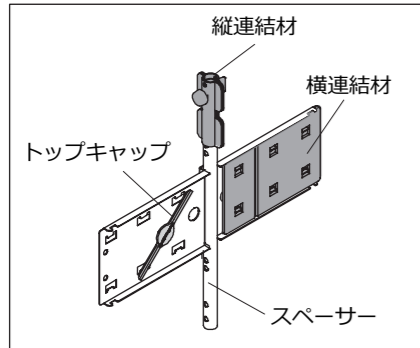
横連結材A,B,Cと縦連結材A,B,CとスペーサーA,B,CとトップキャップA,Bを外して、1,2,3の転用フレームを取り外します。



4. 組立方法

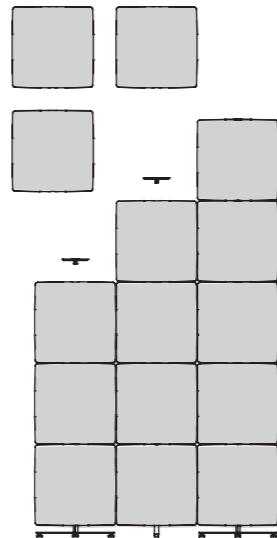
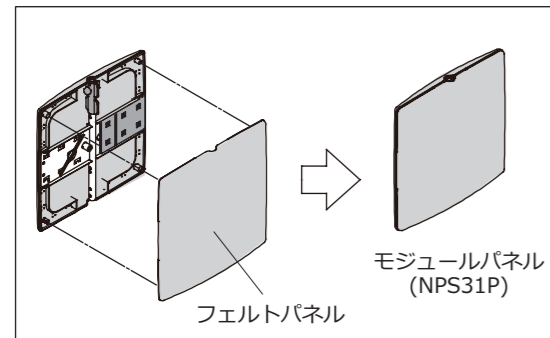
■フロアスタンドパネル組立方法（階段の組立手順）

3 外した部品(1,2,3:トップキャップ,スペーサー,横連結材、3,5,6:縦連結材)を下図の様に、フレームに収納します。

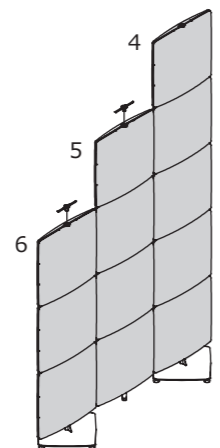
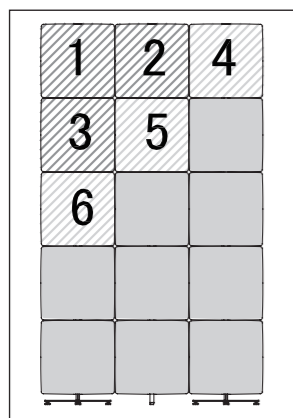


4 5,6の転用フレームに取り付けられているトップキャップを外しておき、4,5,6にフェルトパネルを取り付けます。

1,2,3の転用フレームにも同様にフェルトパネルを取り付けます。1,2,3はモジュールパネル(NPS31P)として保管したり、他のパネルにアドオンすることができます。



5 5,6のトップキャップに取り付けて完成です。



※取り外した1,2,3のモジュールパネル(NPS31P)は、転用するか保管してご使用頂けます。

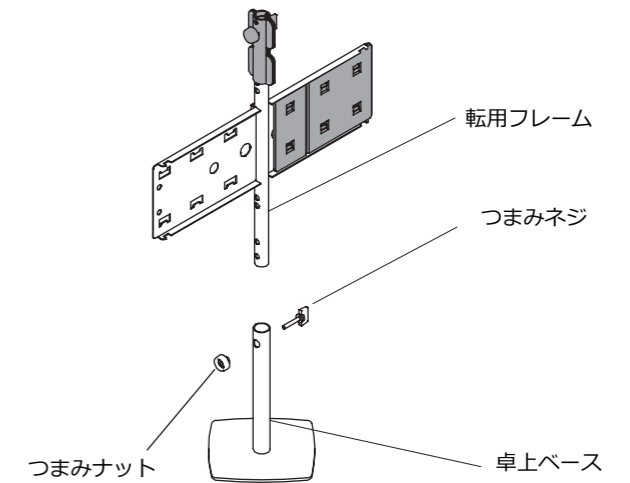
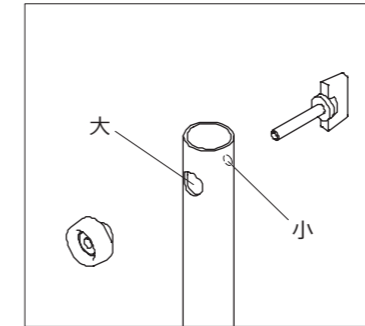
4. 組立方法

■卓上パネル組立方法（3連の場合）

1 転用フレームと卓上ベースの組立

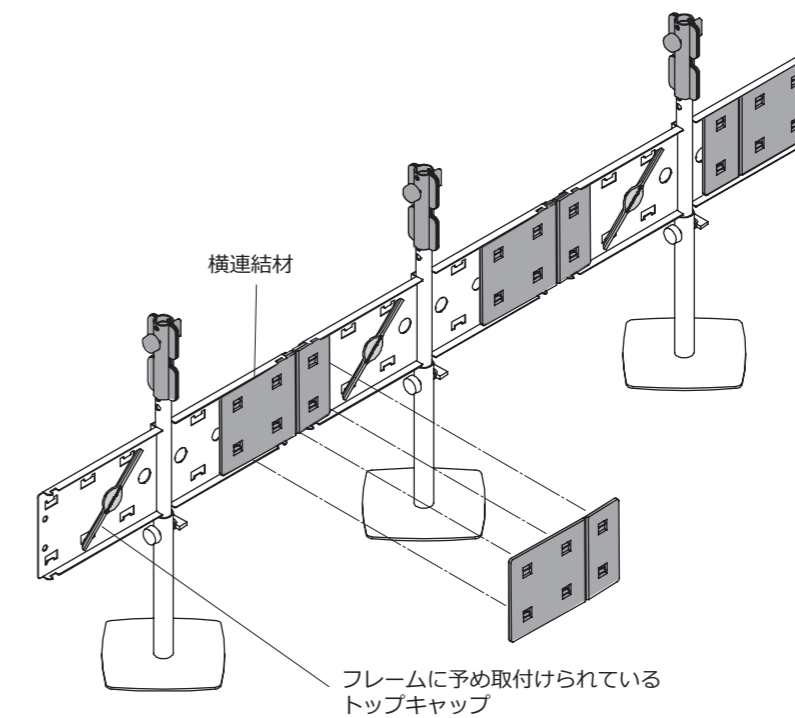
下図の様に、転用フレームを卓上ベースに差し込み、卓上ベースのつまみネジとつまみナットを手で回して固定します。以上を3セット組みます。

卓上ベースの大きい孔につまみナット、小さい孔につまみネジをさし込み締めて固定



2 転用フレーム同士の組立

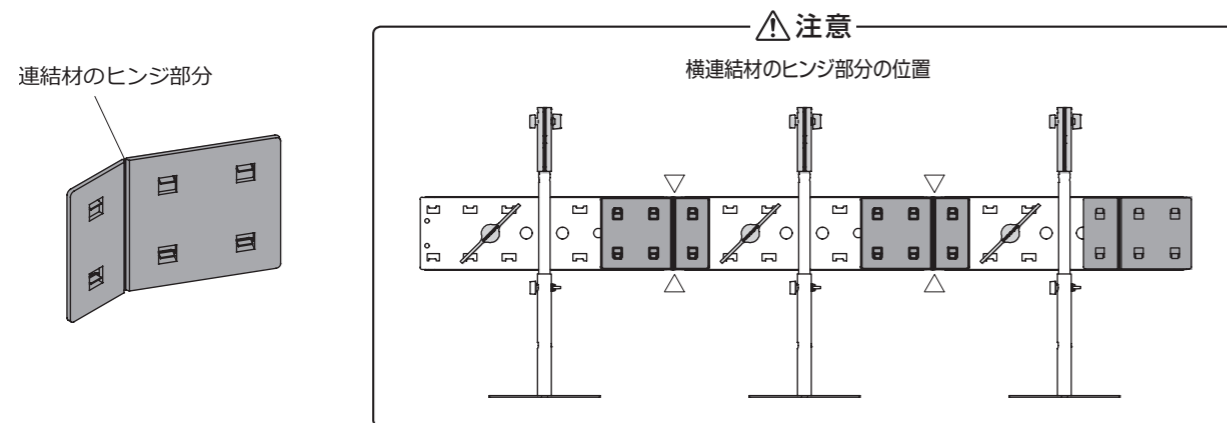
下図の様に、横連結材で転用フレーム同士を連結します。フレームに予め取り付けられているトップキャップは外しておきます。



4. 組立方法

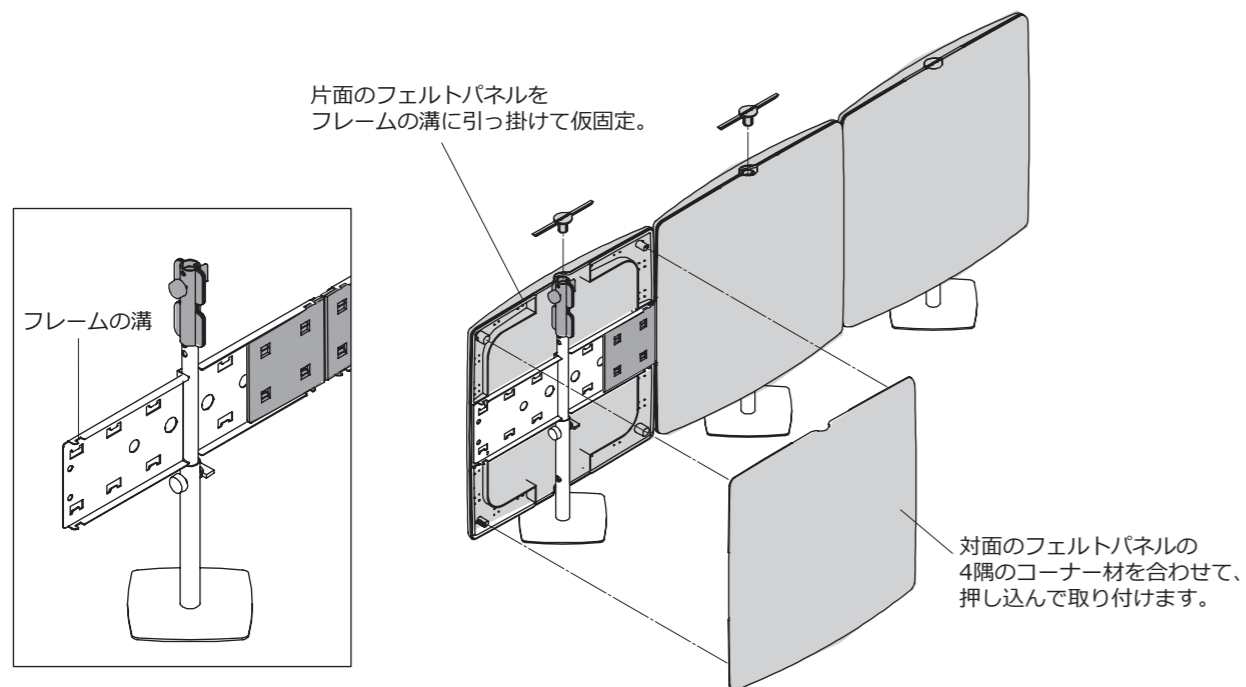
■ 卓上パネル組立方法 (3連の場合)

横連結材は、ヒンジ部分で、パネルを0°45°の範囲で自由に曲げることができ、パネルの角度を調整することが可能です。それぞれ、横連結材の取付位置に注意して取り付けてください。



3 フェルトパネルとトップキャップの取り付け

最初に片面のフェルトパネルをフレームの溝に引っ掛けて仮固定します。その後、反対側のフェルトパネルを対面からあてて、4隅のコーナー材を合わせてカチッと音がなるまで押し込んで取り付けます。最後にトップキャップをはめ込みます。

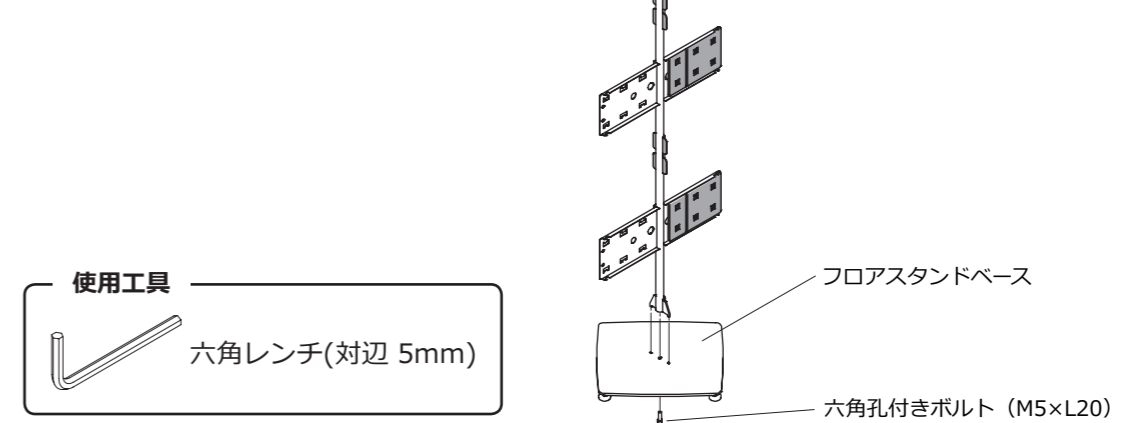


4. 組立方法

■ デスクサイドパネル組立方法

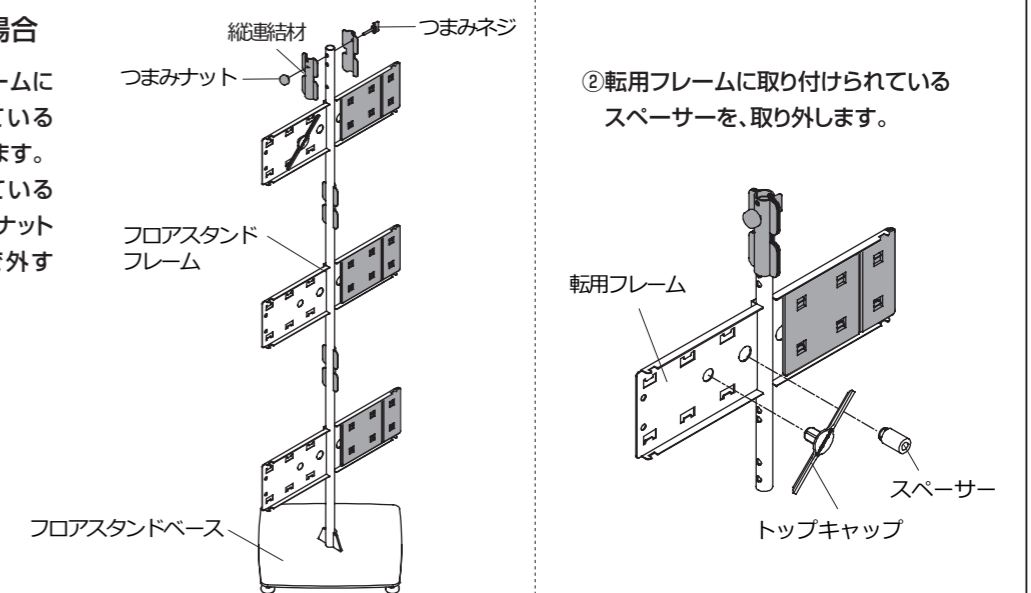
1 フロアスタンドフレームとフロアスタンドベースの組立(720Hタイプの場合)

フロアスタンドベースの角孔に、フロアスタンドフレームの下部突起部分を差し込み、六角孔付きボルトで固定します。



1000Hタイプの場合

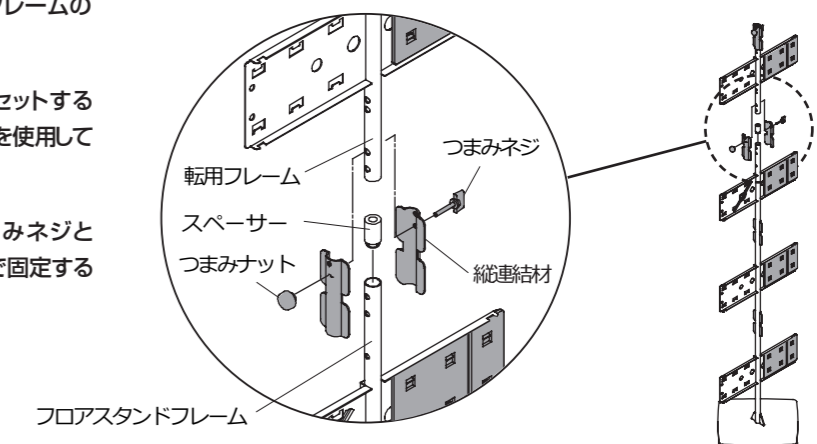
①フロアスタンドフレームに予め取り付けられている縦連結材を一旦外します。縦連結材に付属しているつまみネジとつまみナットを手で緩めることで外すことが可能です。



③スペーサーをフロアスタンドフレームの縦パイプに差し込みます。

スペーサーの上に、4段目にセットする転用フレームを乗せ、縦連結材を使用して縦連結します。

①で外した縦連結材を、つまみネジとつまみナットを手で締めることで固定することが可能です。



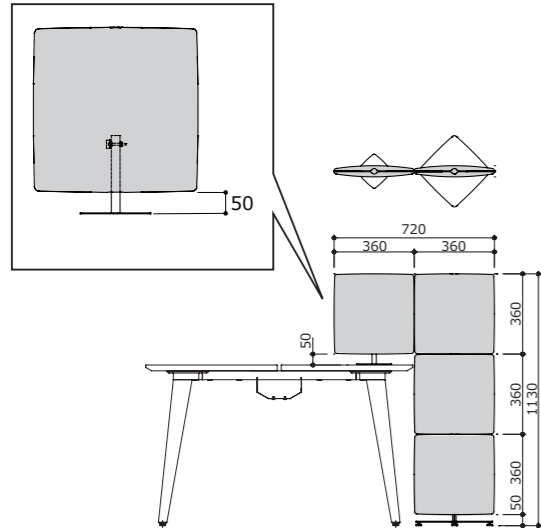
4. 組立方法

■デスクサイドパネル組立方法

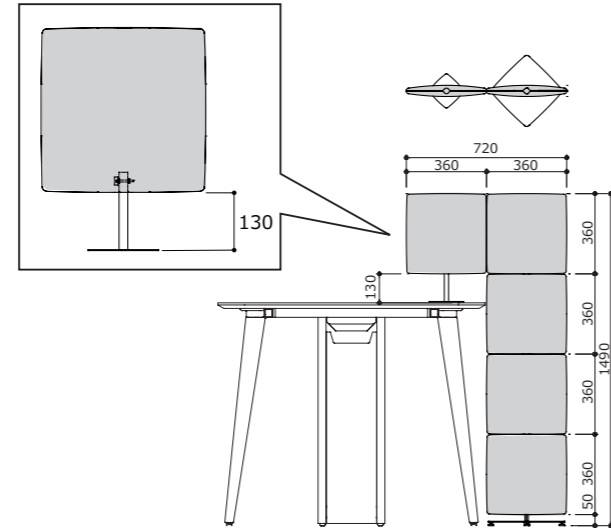
2 転用フレームの取付位置の選択

720Hの場合と1000Hの場合で、卓上ベースと転用フレームの取付位置を選択する必要があります。

●720H: 机上面とパネルの間隔は50mm

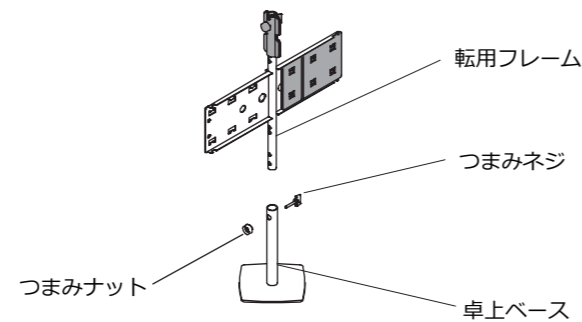
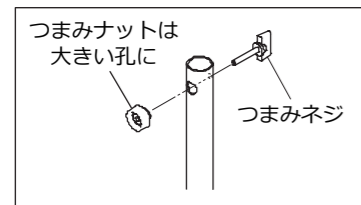


●1000H: 机上面とパネルの間隔は130mm



3 転用フレームと卓上ベースの組立

下図の様に転用フレームを卓上ベースに差し込み、卓上ベースのつまみネジとつまみナットで手で回して固定します。

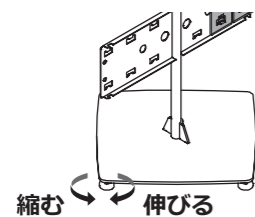


4 レベル調整と横連結材

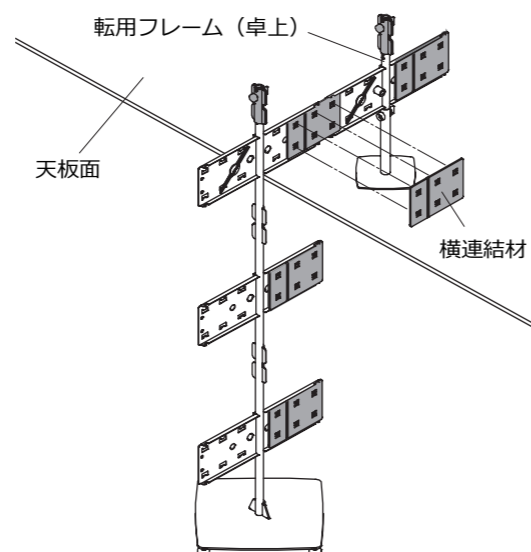
フロアスタンドベースのアジャスターを回して、パネルと床面が垂直になるようにレベル調整を行ってください。

レベルが合っていないと、パネルの縦横の連結がスムーズにできないと同時に、パネルの安定性が悪くなります。

アジャスターは時計回りに回すと伸びます。



レベル調整が完了したら、横連結材で③で組み立てた卓上の転用フレームと横連結します。



4. 組立方法

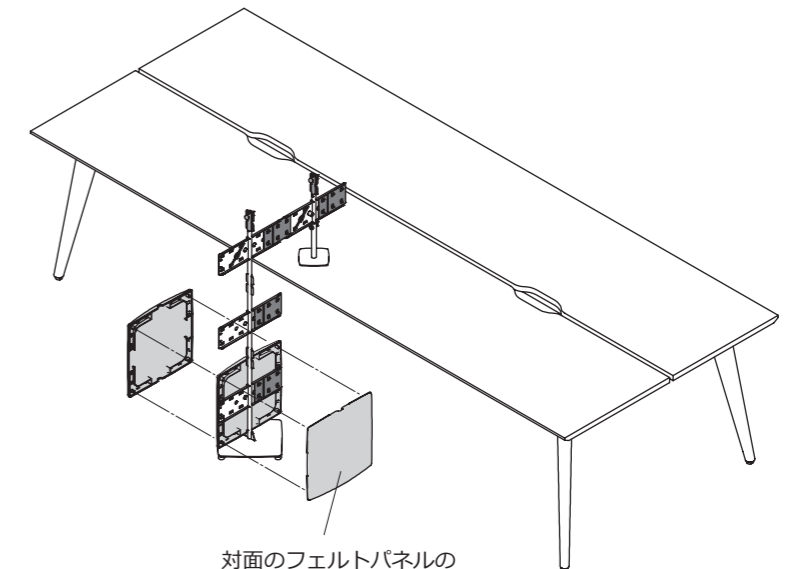
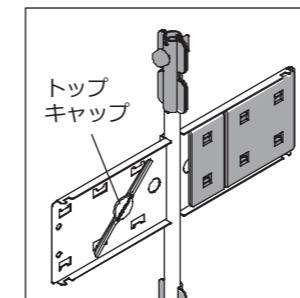
■デスクサイドパネル組立方法

5 フェルトパネルの取り付け

最上段のフレームに予め取り付けられているトップキャップを外します。

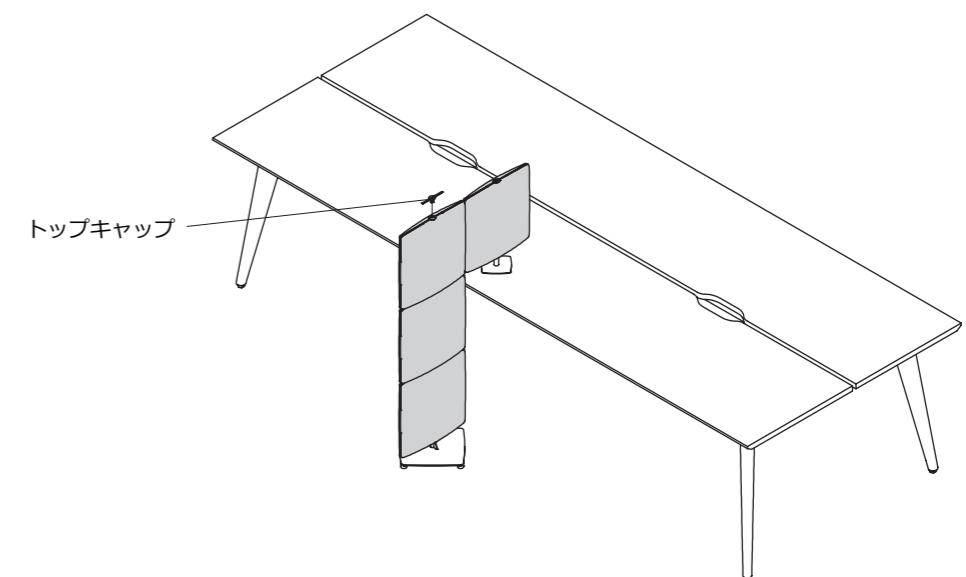
フェルトパネルを下から順々に、上まで取り付けていきます。

最初に片面のパネルをフレームの溝に引っ掛けて仮固定します。その後、反対側のパネルを取り付けます。



6 トップキャップの取り付け

最上段のフレームに予め取り付けられているトップキャップを、パネル最上面に取り付けます。

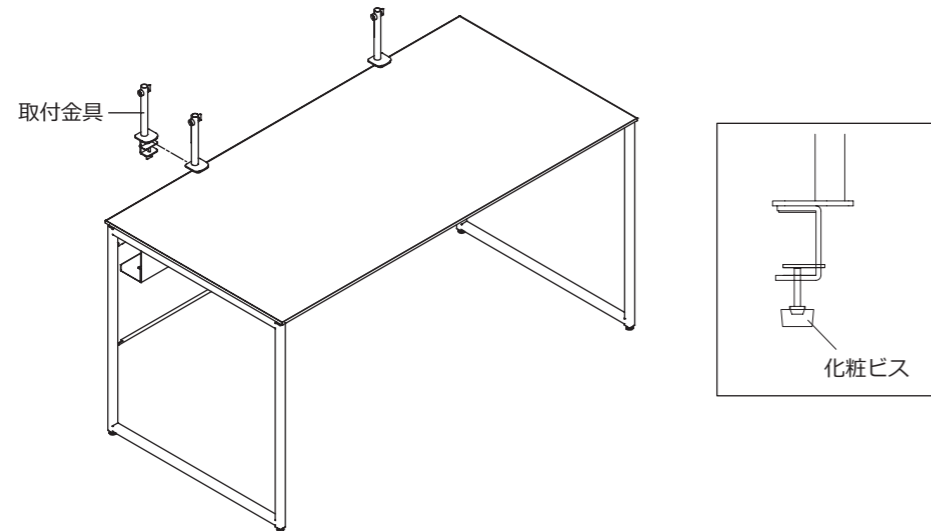


4. 組立方法

■デスクトップパネル Aタイプ (汎用クランプタイプ) 組立方法

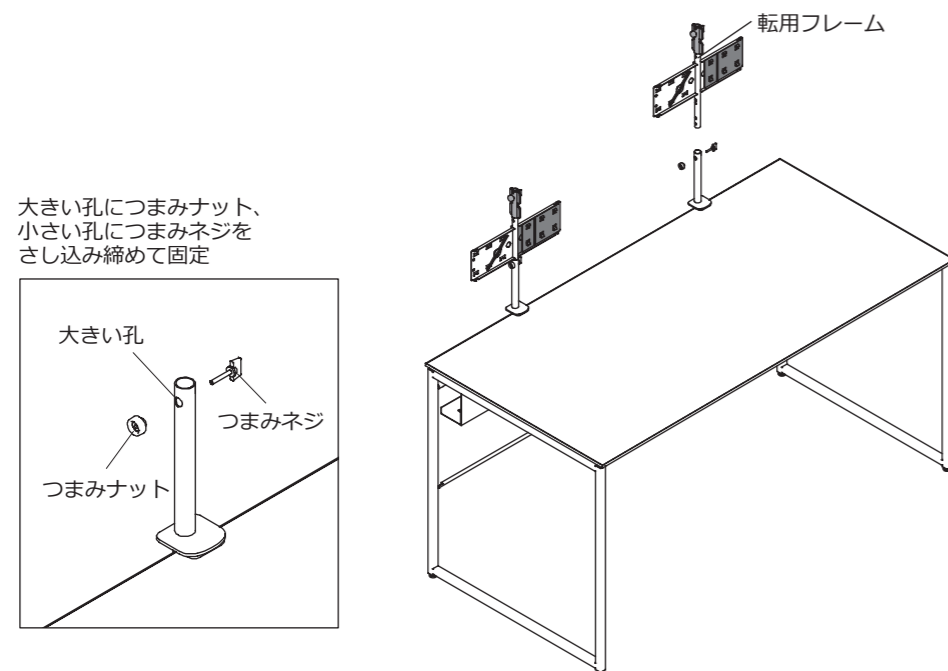
1 取付金具の天板へにクランプ

下図の様に、取付金具を天板に挟み込み、化粧ビスを手回しすることで、クランプ固定します。



2 転用フレームの取り付け

①で取り付けした取付金具に転用フレームを差し込み、取付金具のつまみネジとつまみナットで固定します。



4. 組立方法

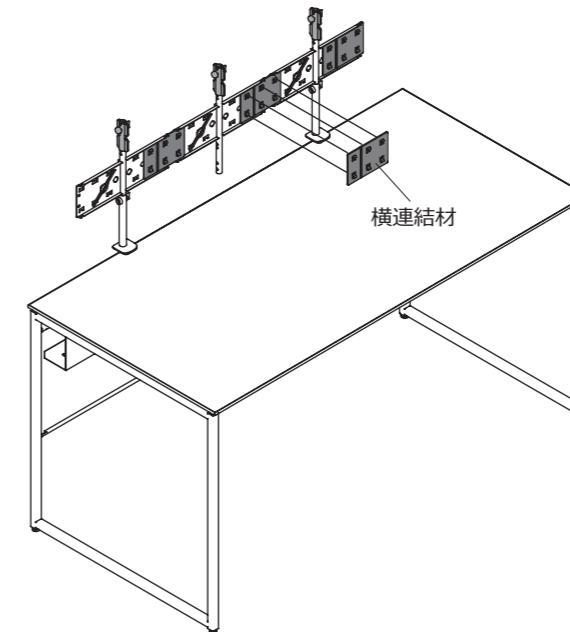
■デスクトップパネル Aタイプ (汎用クランプタイプ) 組立方法

3 転用フレームの横連結

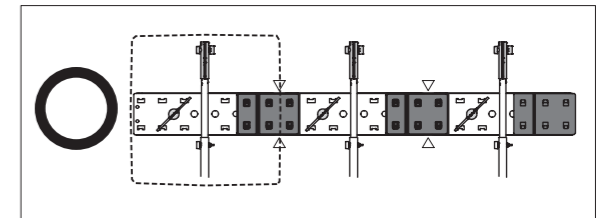
転用フレーム同士を横連結材で固定します。

【注意】:デスクトップパネルの場合は、横連結材は直線連結で繋いでください。

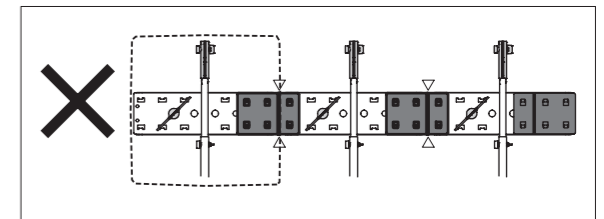
0~45°の範囲で角度調節可能な連結とすると、連結部分が弱くなりパネルが揺れてしまいます。



必ず直線連結で繋いでください



0~45°の範囲で角度調節可能な連結にしないこと

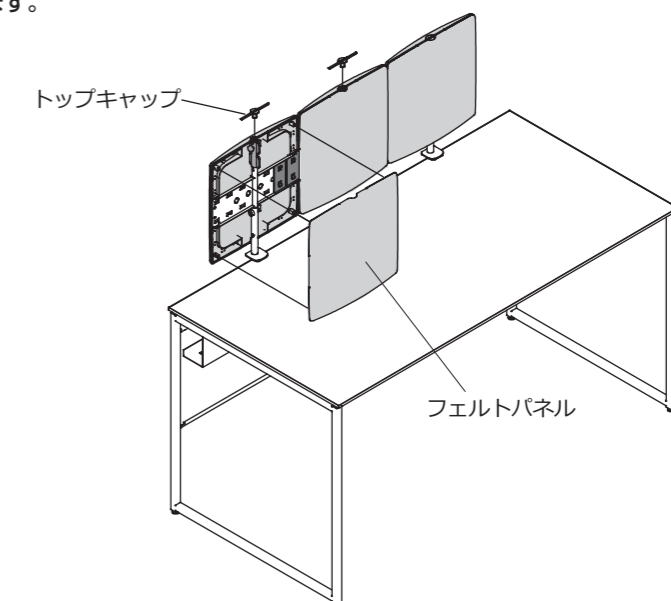


4 フェルトパネルとトップキャップの取り付け

最初に片面のフェルトパネルをフレームの溝に引っ掛けて仮固定します。

その後、反対側のフェルトパネルを対面からあてて、4隅のコーナー材を合わせてカチッと音がなるまで押し込んで取り付けます。

最後にトップキャップをはめ込みます。

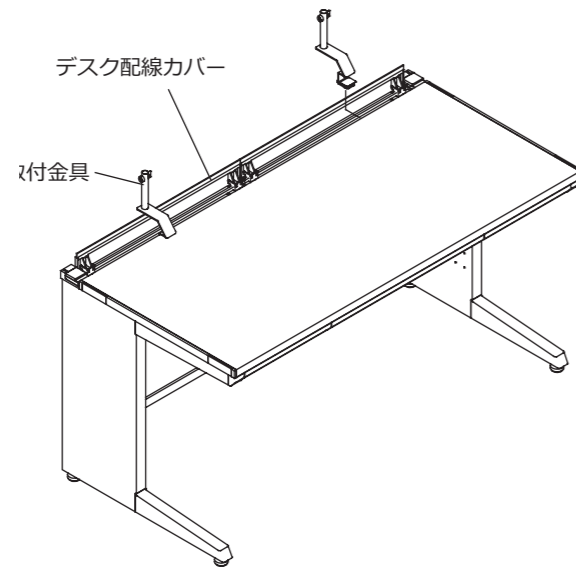


4. 組立方法

■デスクトップパネル Bタイプ (アドバンス専用) 組立方法

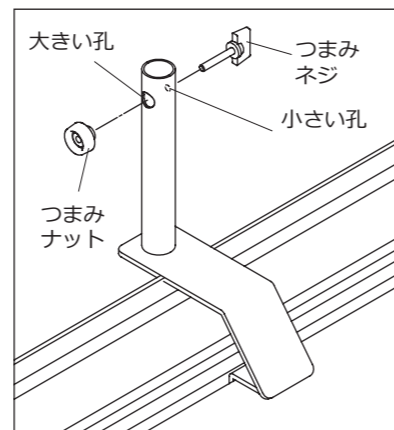
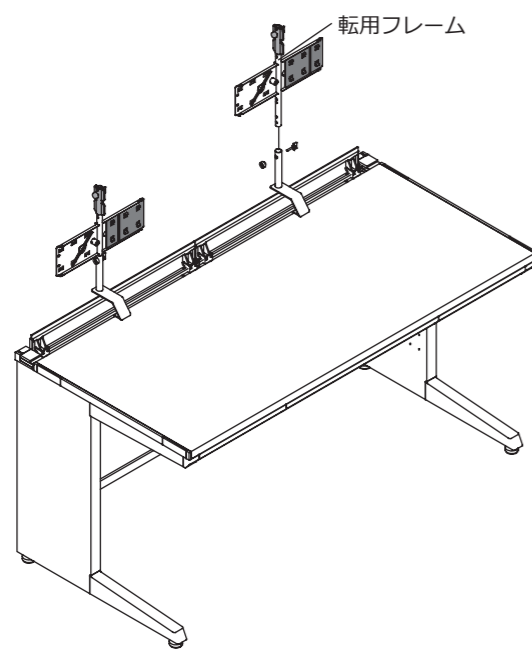
1 取付金具の天板へのクランプ

下図の様に、デスクの配線カバーを開き、取付金具を天板へ軽くクランプさせます。



2 転用パネルフレームの取付

1で取り付けした取付金具に転用パネルフレームを差し込み、取付金具のつまみネジとつまみナットで固定します。つまみナットは必ず取付金具の大きい孔の方に取り付けてください。



4. 組立方法

■デスクトップパネル Bタイプ (アドバンス専用) 組立方法

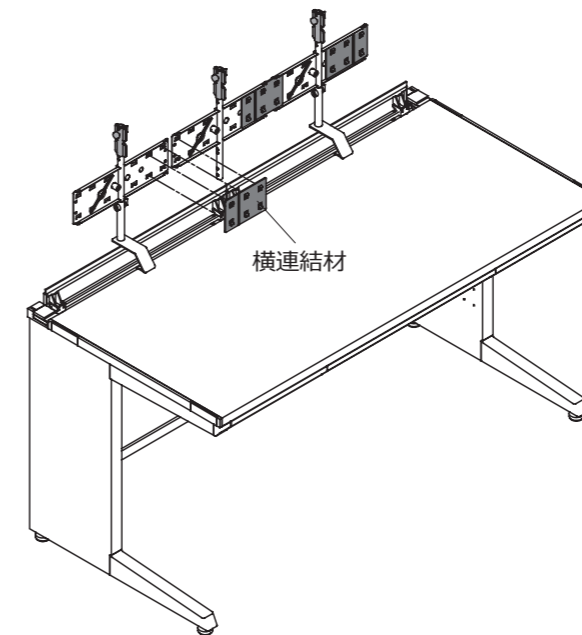
3 転用フレームの横連結

転用パネルフレーム同士を横連結材で固定します。

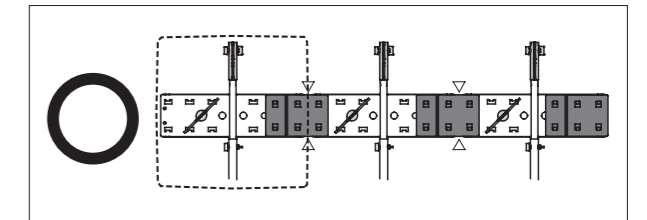
位置が決まったら、①で軽く締めた取付金具のつまみネジを本締めします。

[注意] デスクトップパネルの場合は、横連結材は直線連結でつないでください。

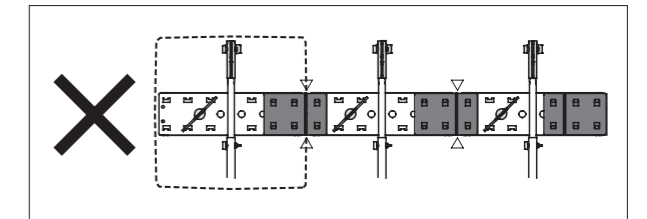
0~45°の範囲で角度調節可能な連結とすると、連結部分が弱くなりパネルが揺れてしまいます。



必ず直線連結で繋いでください

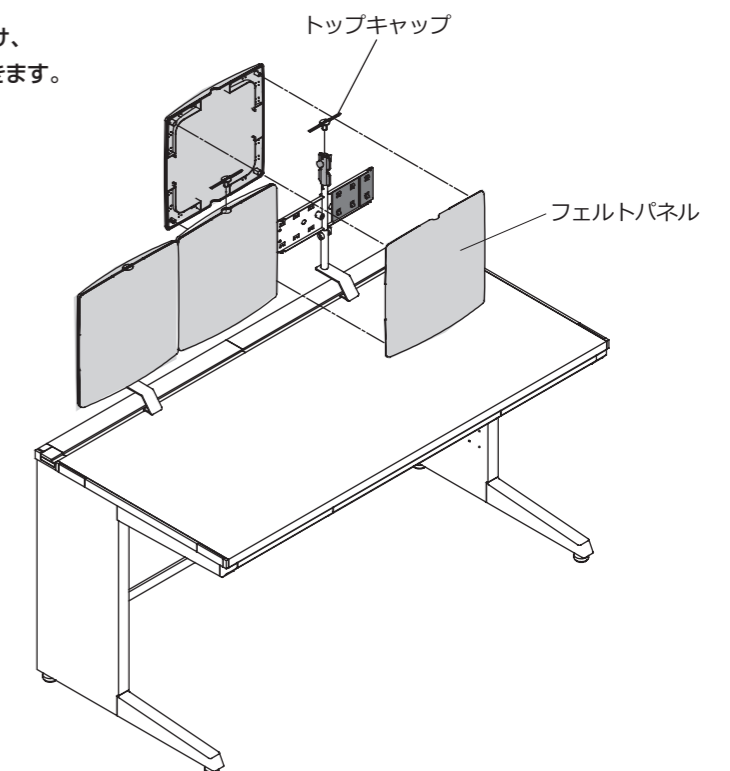


0~45°の範囲で角度調節可能な連結にしないこと



4 フェルトパネルとトップキャップの取り付け

最初に片面のフェルトパネルをフレームに取り付け、その後、反対側のフェルトパネルを取り付けていきます。最後にトップキャップをはめ込みます。

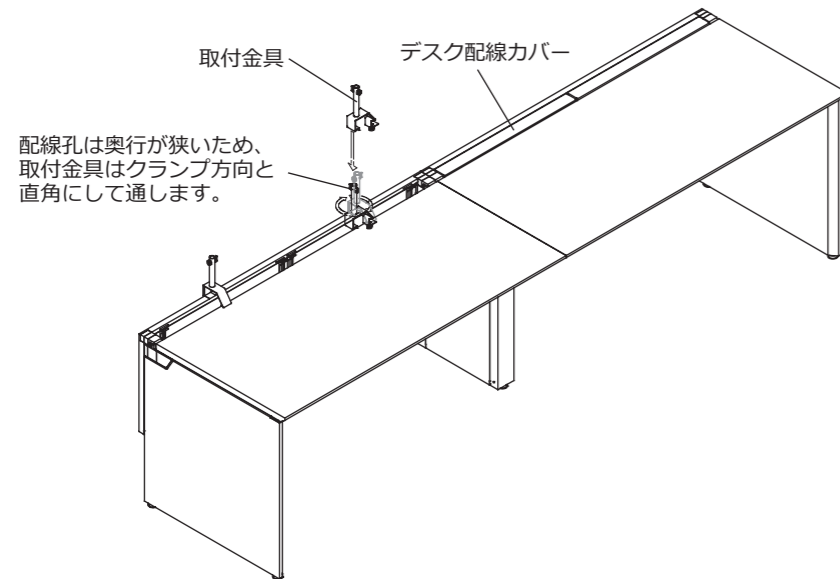


4. 組立方法

■デスクトップパネル Cタイプ (プロユニットフリーウェイ片面専用) 組立方法

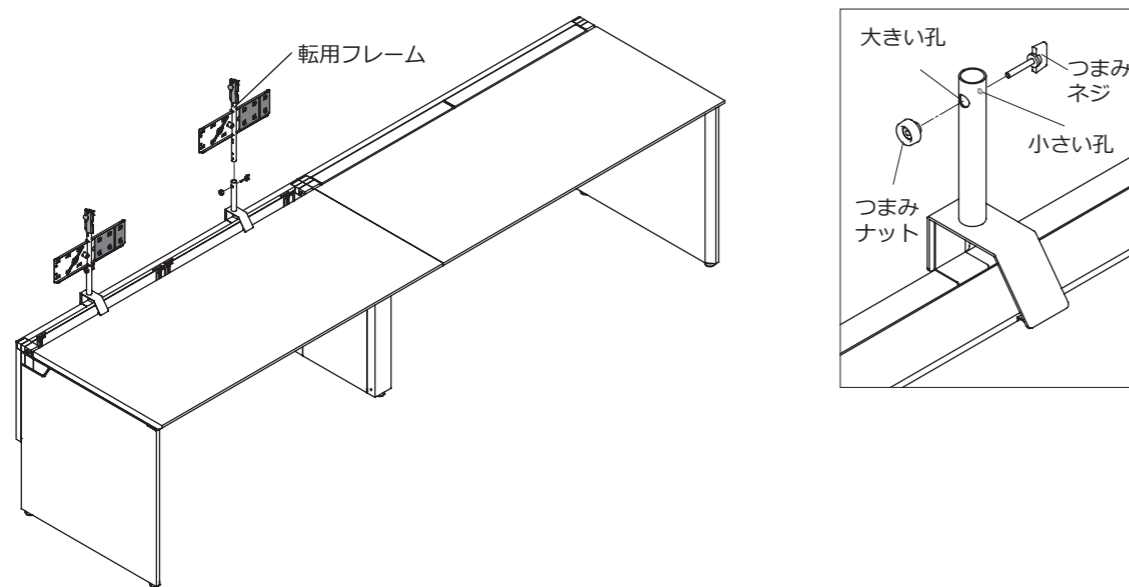
1 取付金具の天板へのクランプ

下図の様に、デスクの配線カバーを開き、取付金具を天板へ軽くクランプさせます。



2 転用パネルフレームの取り付け

1で取り付けした取付金具に転用パネルフレームを差し込み、取付金具のつまみネジとつまみナットで固定します。つまみナットは必ず取付金具の大きい孔の方に取り付けてください。



4. 組立方法

■デスクトップパネル Cタイプ (プロユニットフリーウェイ片面専用) 組立方法

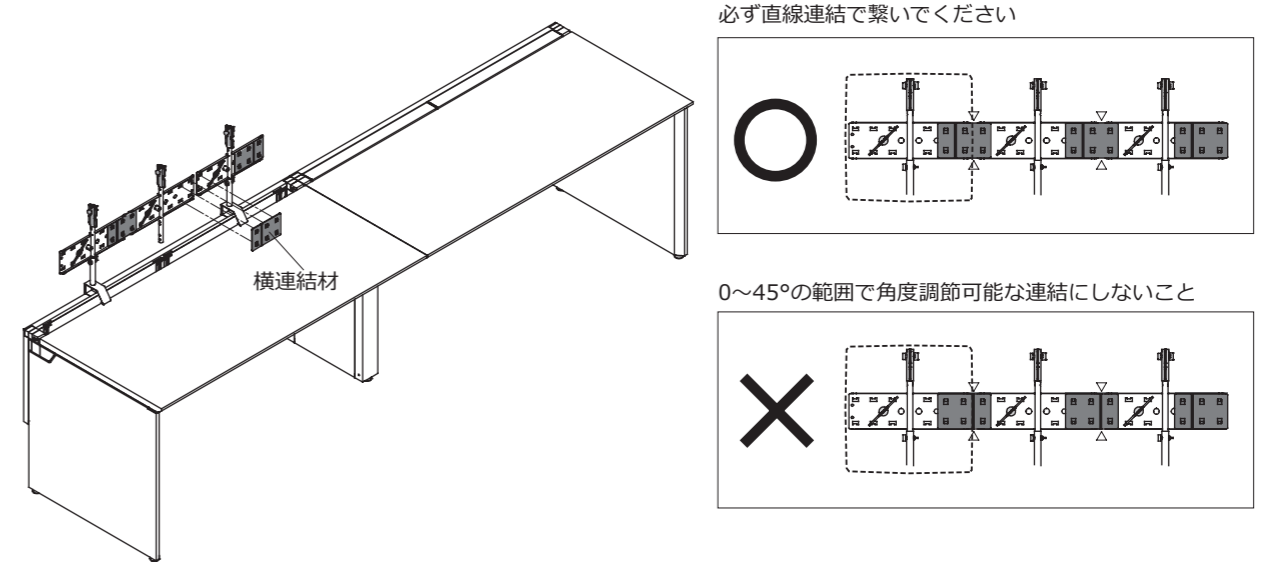
3 転用フレームの横連結

転用フレーム同士を横連結材で固定します。

位置が決まったら、①で軽く締めつけた取付金具のつまみネジを本締めします。

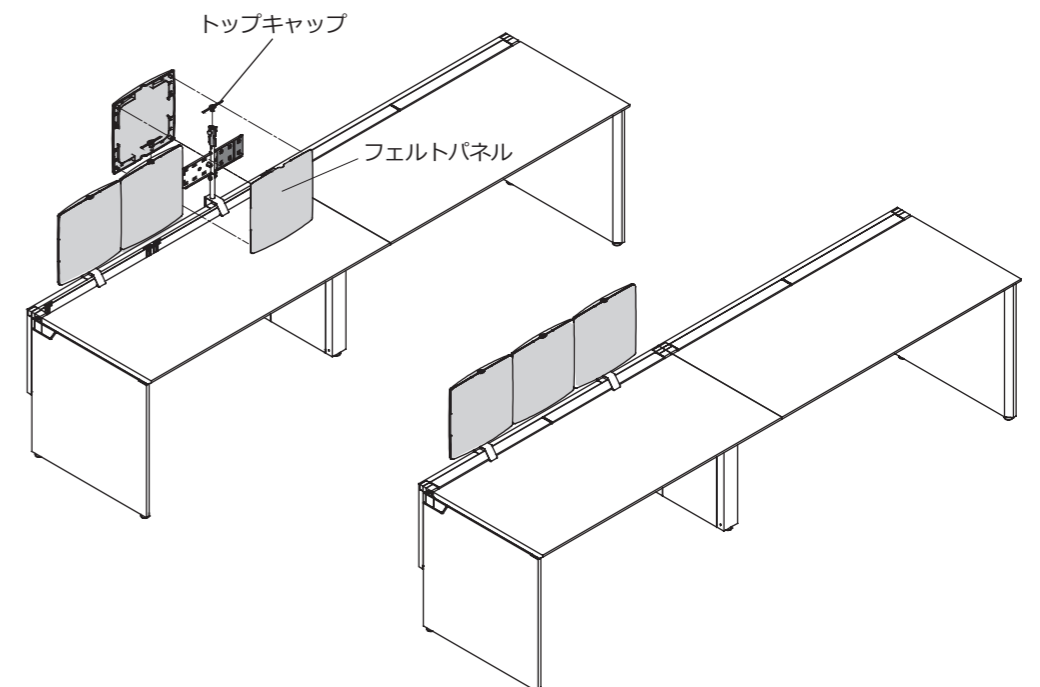
【注意】デスクトップパネルの場合は、横連結材は直線連結で繋いでください。

0~45°の範囲で角度調節可能な連結とすると、連結部分が弱くなりパネルが揺れてしまいます。



4 フェルトパネルとトップキャップの取付

最初に片面のフェルトパネルをフレームに取り付け、その後、反対側のフェルトパネルを取り付けていきます。最後にトップキャップをはめ込み配線カバーを取り付けて完成です。

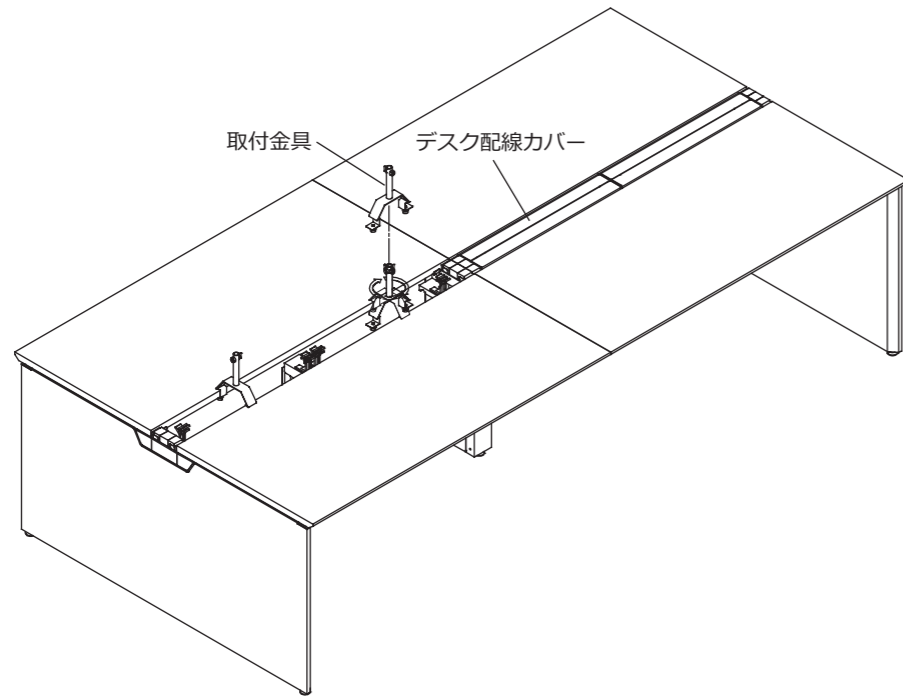


4. 組立方法

■デスクトップパネル Dタイプ (プロユニットフリーウェイ両面専用) 組立方法

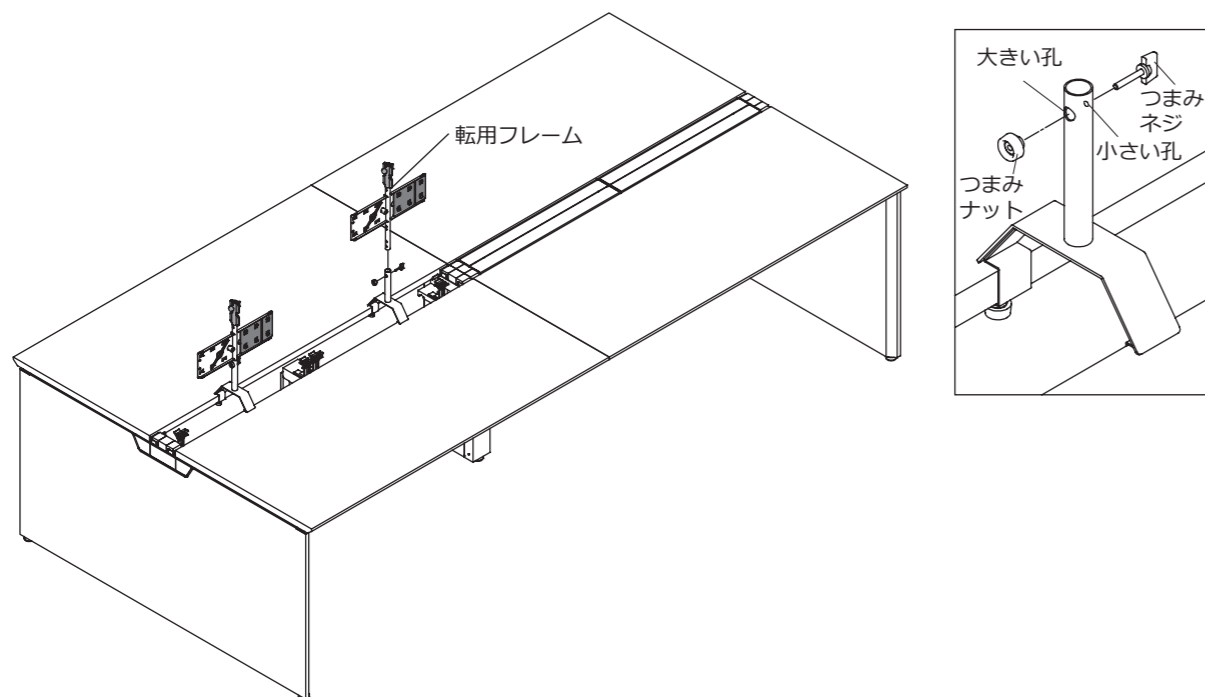
1 取付金具の天板へのクランプ

下図の様に、デスクの配線カバーを一旦外し、取付金具を天板へ軽くクランプさせます。



2 転用フレームの取り付け

1で取り付けした取付金具に転用フレームを差し込み、取付金具のつまみネジとつまみナットで固定します。
※つまみナットは必ず取付金具の大きい孔の方に取り付けてください。

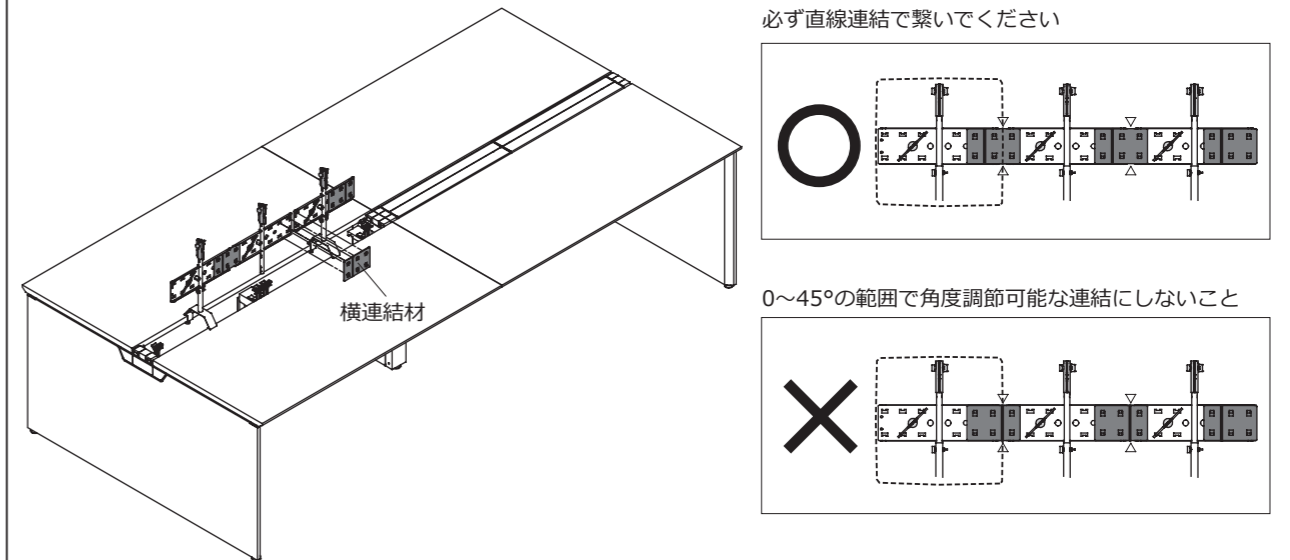


4. 組立方法

■デスクトップパネル Dタイプ (プロユニットフリーウェイ両面専用) 組立方法

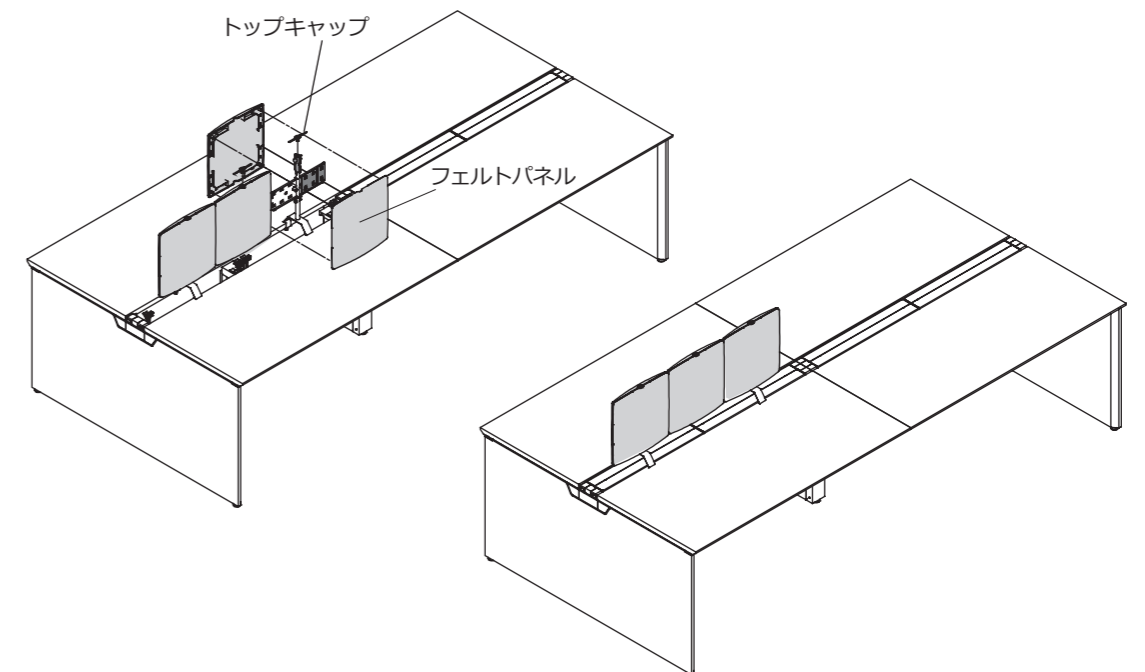
3 転用フレームの横連結

転用フレーム同士を横連結材で固定します。
位置が決まったら、①で軽く締めした取付金具のつまみネジを本締めします。
【注意】デスクトップパネルの場合は、横連結材は直線連結で繋いでください。
0~45°の範囲で角度調節可能な連結とすると、連結部分が弱くなりパネルが揺れてしまいます。



4 フェルトパネルとトップキャップの取り付け

最初に片面のフェルトパネルをフレームの溝に引っ掛けて仮固定します。
その後、反対側のフェルトパネルを対面からあてて、4隅のコーナー材を合わせてカチッと音がなるまで押し込んで取り付けます。
最後にトップキャップをはめ込みます。



5. 末永くお使いいただくために

下記事項をお守りにならなかった場合には、製品に不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

アフターメンテナンスについて

- 保証期間終了後も、修理により機能が維持できる場合は、有料にて修理を承っております。
- 弊社では、商品の持ち込みによる返品や修理を承っておりません。ご依頼は必ず、ご購入された販売店、またはオカムラサポートアンドサービスへ連絡してください。

日常のお手入れについて

[フェルトパネル：ポリエステル]

- フェルトを傷めないように柔らかいブラシでブラッシングしてください。また表面を軽く叩きながら、掃除機でホコリを取り除いてください。
- 長期間のご使用で付着した手垢（皮脂）などの汚れは、薄めた中性洗剤に浸し固く絞った柔らかい布で拭き取ってください。また洗剤が残らないように水拭きし、さらに乾拭きして乾燥させてください。
- アルカリ電解水を使用し汚れを除去する場合は、汚れに直接吹き掛け、フェルトを傷めないように柔らかいブラシでブラッシングしてください。また水分と汚れを柔らかい布で拭き取り、乾燥させてください。
- 汚れが付着した場合、なるべく早い段階で除去してください。また輪じみが残るのを避けるため、汚れ部分のみだけでなく全体を掃除してください。
- 洗剤を使用する場合、目立たない部分で変色等が生じないことをあらかじめ確認してください。
- 状態によっては汚れが落ちない場合があります。

[ベース・支柱・フレーム・縦連結材：金属（鋼）]

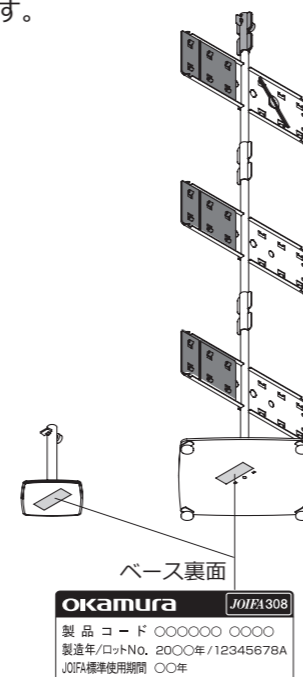
- 柔らかい布でから拭きしてください。
- 著しく汚れた場合は、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸して絞ってから、拭き取ってください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらから拭きして乾燥させてください。
- 汚れが付着した場合、なるべく早い段階で除去してください。
- 状態によっては汚れが落ちない場合があります。

[横連結材：PP樹脂・コーナー材、トップキャップ：ABS樹脂]

- 固く絞った柔らかい布で水拭きをしてください。
- 汚れが目立つ場合は、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸して絞ってから、拭き取ってください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらから拭きして乾燥させてください。
- 汚れが付着した場合、なるべく早い段階で除去してください。
- 状態によっては汚れが落ちない場合があります。

製品コードラベル

- 本製品には製品コードなどを記載した製品コードラベルが貼ってあります。お問い合わせや同一製品を再注文される際にご確認ください。



6. 仕様

主な材質と表面加工

構造具材	材質	表面加工
フェルトパネル	表面材	ポリエステル
	芯材	ポリエステル
	コーナー材	ABS樹脂
トップキャップ	ABS樹脂	—
デスクトップパネル取付金具	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
横連結材	PP樹脂	—
転用フレーム	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
フロアスタンドフレーム		
フロアスタンドベース		
縦連結材		
卓上ベース		

製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。